

SCOUTING

2020
No.736
3

特集

「そなえよつねに」

—災害への備え—

日韓交歓計画 交流プログラム
指導者養成訓練予定一覧

写真：第45回全国ボーイスカウト写真コンテストより



CONTENTS

02 第13回日本アグーナリー

04 令和2年度全国大会

05 全国の大学ローパー

06 ニッポン全国元気団紹介
鳥取連盟 米子第8団

07 野外活動のための安心・安全講座
アレルギーの話

08 スカウトの成長はあなたの研修から!!
指導者養成訓練予定一覧

10 2019年度日韓スカウト交歓計画

11 スカウティングとSDGs
— 一緒に考えよう! 持続可能な社会のために —

12 **特集**「そなえよつねに」
—災害への備え—

16 ローカルホットライン

17 キャンプ場ガイド

18 日本連盟情報

18 維持会員

19 エッセイ

19 信仰奨励

20 スカウティングと観察・推理 ⑤
観察と推理の体験が目指すもの、
導いてくれるものを知ろう。

22 令和元年台風第19号への支援状況報告

23 スカウトショップ



We Can! ふかめよう友情!
きずな
ひろげよう絆!

会期：8月12日(水)~16日(日)

場所：福島・国立磐梯青少年交流の家

国際障がいスカウトキャンプ大会

第13回 日本アグーナリー

13th NIPPON AGOONOREE

第13回日本アグーナリーの開催まで、あと5か月。皆さん、参加申し込みはお済みですか？「国際障がいスカウトキャンプ大会」であるアグーナリーには、障がいのあるスカウト（特別なトやガールスカウトも参加することができ、障がいの有無にかかわらず、参加者全員が相互に尊重）今号では、参加申し込みに関する情報、そして、大会ソングやプログラムについてご紹介を進めていきましょう。

■ **誰でも参加できる！**

下記のいずれの区分でも、障がいの有無にかかわらず大会に参加することができます。

参加隊 カブスカウト以上のスカウト、指導者、介添えの保護者

※ 介添えの保護者は、加盟員でなくても参加可能。

本部スタッフ ベンチャースカウトおよびローパースカウト、指導者、県連盟および日本連盟の役員、各分野の専門家

■ **参加申し込み方法**

参加予定申し込みを済ませた方

先の予定申し込みがお済みの方は参加人数枠を確保しますので、全員ご参加いただけます。4月上旬に日本連盟ホームページに掲載予定の「参加確定申し込み」の手続きを済ませることで正式な申し込みとなりますので、申し込み手続きをお願いします。

参加予定申し込みが済んでいない方

現在、予定申し込みによる参加人数を取りまとめています。最大定員数まで余裕があるため、「申し込むのを忘れていた」「4月以降の予定が分からなかったので申し込みできていなかった」など、これから参加を希望される方の申し込みを受け付けます。申し込み方法等の詳細は、4月上旬に日本連盟ホームページに掲載する予定です。

【確定申し込み期間】

4月上旬~5月15日(金)
県連盟締め切り

※ 申込書と参加費を合わせて県連盟に提出してください。
※ キャンセルポリシーは、基本実施要領および参加申込要領に記載していますので、ご確認ください。

■ **大会ソング**

「かがやけアグーナリー」

大会期間中は、大会公式ソング「かがやけアグーナリー」を歌う機会がたくさんあります。日本連盟ホームページより、音源および手話付きの歌詞カードがダウンロードできますので、参加者全員で手話もあわせて歌えるように、事前に隊集会等で練習しておきましょう。



COLUMN

地域団による発達障がい児の受け入れとアグーナリーへの参加

13NA 実行委員 安藤 正紀

私が所属する横浜第30団は、神奈川県横浜市西区（みなとみらいや赤レンガ倉庫など）で活動する地域団です。20年くらい前から、知的障がい、発達障がい等の子どもたちが毎年入団するようになりました。

多少の配慮はしますが、特別な内容のプログラムを用意したり担当の指導者を決めたりせず、分け隔てなく活動しています。指導者が必要以上に手をかけなくても、スカウトの集団（隊、班や組）がその子たちを包み込んでくれるからです。その分、保護者と指導者間のコミュニケーションが、より重要なポイントになります。当団でもそこを大切に、信頼関係を築いています。

また、障がいのあるスカウトを受け入れることで指導者の質がより高まり、保護者の信頼が口コミを生むなど、相乗効果によって健全スカウトもどんどん増え、障がいスカウトと健全スカウトと一緒に楽しく活動しています。

ここで、保護者の声を基にしたアグーナリーの特徴と実際の感想をご紹介します。

1. アグーナリーの特徴

- ① 参加人数規模とプログラム／参加者は約1,000人。発達障がいのあるスカウトには、ゆったりとして安心できるプログラムが展開される。また、プログラム内容も難しすぎず、カブスカウトや障がいのあるスカウトでも楽しみながら挑戦できる。
- ② 海外スカウトとの交流／前回の第12回大会には、オーストラリアや台湾、韓国など6つの国と地域からスカウトが参加。「国際障がいスカウトキャンプ大会」であるアグーナリーでは、カブスカウトのうちからさまざまな国のスカウトと触れ合い、文化などの多様性に接することができる。
- ③ コストパフォーマンス／一般的に、障がいのある子どもたちが体験活動などに参加する際、費用負担が大きいことがある。アグーナリーも決して安いとはいえないが、スカウトが自分の状況に応じてさまざまなプログラムに挑戦でき、費用対効果が高いといえる。
- ④ スペシャルゲスト／過去の大会では、天皇陛下（皇太子殿下として）や秋篠宮皇嗣同妃両殿下（秋篠宮殿下として）、眞子内親王殿下にもご台臨いただき、ときには一緒にテント張りを体験されるなど、皇室の方々を近くに感じられる機会がある。また、トップアスリートの方などにも訪問いただき、より多くの体験や挑戦につながる激励をいただいている。

2. 保護者の感想

- 国際大会で、さまざまな人々と交流ができる。そのうえ、殿下がお越しになるなんてすごい！ さすがボーイスカウトだと思う。
- 報告書を見るとよく分かるが、スカウト一人ひとりに焦点が合っている。

障がいは、一人ひとり異なります。それぞれが状況に応じてできることに挑戦するアグーナリーは、スカウトにとっても保護者や指導者にとっても、成長を感じることでできる活動のひとつです。

障がいの有無にかかわらず参加できるアグーナリーで、さまざまな体験をしましょう。

今年の夏、福島でお待ちしています。



アグーナリー

配慮を必要とするスカウト)のほか、外国スカウトも積極的に参加し、重し支え合う「共生社会」の実現を目指します。この夏開催のアグーナリーに向けて、準備

■ プログラム

今大会では、全体集会のほか、場内および場外で選択プログラムを展開します。実施検討および準備中のプログラムを一部ご紹介します（2020年1月31日時点の予定。変更の可能性があります）。

場内プログラム

さまざまな種類のプログラムから、希望するプログラムに参加します。

赤べこ絵付け創作体験、参加者全員共同アート作品制作、卓球バレー、ボッチャ、フライングディスク、ハンディキャップ体験、五感体験、無線体験、協賛企業によるワークショップなど

場外プログラム

半日プログラムと1日プログラムを予定しています。

[半日プログラム] 五色沼自然探勝ハイキング、カヌー体験 [1日プログラム] 会津歴史探訪



申し込み情報や大会ポスターなどの各種資料、大会ソングやPRムービーを公開しています！
今後も、日本連盟ホームページで最新情報を更新していきますので、ご確認ください。

<https://www.scout.or.jp/member/13na/>



令和2年度 全国大会

[テーマ]

Creating a Better World (より良い世界を創ろう)

～ 活動的で自立した青少年を育てよう!! ～



全国大会は、社会への本運動の理解を広めるとともに、加盟員の研鑽の場、本連盟と参加者の双方からの情報交換の場として開催します。日本連盟および都道府県連盟などの活動報告や展示、年次表彰のほか、参加者が全国の多くの仲間と触れ合うことによって、ボーイスカウト運動に関わっている喜びを実感してその意義を分かち合い、同時に、全国の指導者によるスカウト運動推進に向けた各種研修、情報交換や懇親によって幅広くスカウト関係者からの意見や要望を聞くことで、さらに開かれた教育運動を目指します。



■ 日程：5月23日(土)～24日(日)

■ 場所：神奈川・横浜市

■ 会場：神奈川県民ホール (〒231-0023 横浜市中区山下町3-1)
横浜シンポジア (〒231-0023 横浜市中区山下町2)
横浜市開港記念会館 (〒231-0023 横浜市中区本町1-6)

■ 交歓会：ローズホテル横浜 (〒231-0023 横浜市中区山下町77)

■ 主催／公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

■ 開催県連盟／日本ボーイスカウト神奈川連盟

■ 後援(申請予定)／神奈川県、横浜市、横浜市教育委員会、公益財団法人神奈川県青少年育成指導協会、一般財団法人ボーイスカウト神奈川連盟維持財団

■ 参加者／どなたでも参加できます

- ① ボーイスカウト指導者・役職員(隊長、団委員長、地区コミッショナーの参加を期待します)
- ② ローバースカウト
- ③ スカウトの保護者、育成会員、スカウトクラブ会員等
- ④ 行政関係者、他団体関係者
- ⑤ 一般市民、県内の青少年、その他

■ 大会参加費／¥3,000- (資料および記念品代含む)

※スカウティングエキスポは、一般向けに無料開放します

■ 交歓会参加費／¥10,000- (5月23日18:30～)

■ 主な日程

5月23日(土)

- 12:30～13:00 / 基調講演(調整中)
- 13:00～15:15 / 開会式、表彰式等
- 15:30～17:30 / 諸会議(県連盟代表者会議、全国県連盟コミッショナー会議、RCJ 総会)
- 18:30～ / 交歓会

5月24日(日)

9:00～11:30 / 全国スカウト教育会議(=テーマ集会)

5月23日(土)～24日(日)

スカウティングエキスポ(展示、体験コーナー他)、
わいわいマリーンフェスタ

※スカウティングエキスポは、団体および個人の出展を広く公募します。募集要項等は今後、日本連盟ホームページに掲載予定ですので、ご確認ください。

※わいわいマリーンフェスタでは、会場周辺にて一般の小学生を対象にしたスタンプラリーを実施します。

ボーイスカウト神奈川連盟より

神奈川といえば、横浜、鎌倉、江の島、そして静かな自然に囲まれた箱根。見どころ満載です。

今回、主会場として皆さまをお迎えする「県民ホール」は、世界の窓口である横浜港に隣接し、山下公園、元町、中華街、赤レンガ倉庫、ランドマークタワーなどに臨む、風光明媚な会場です。また、テーマ別集会の会場として、国の重要文化財に指定されている「横浜市開港記念会館」も利用します。

歴史と異国情緒豊かな「横浜」で、皆さまのお越しをお待ちしています。



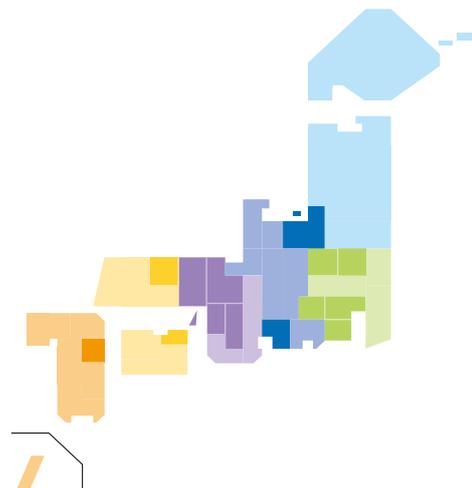
全国の大学ローバー

進学を機に地元を離れるスカウトも多いことでしょう。「進学先や近隣の大学で活動している団があれば」というスカウトや、「進学先の大学にローバー隊があることをスカウトに教えよう」という指導者の方に参考にしていただくために、今号では、全国各地で大学ローバーとして活動している団をご紹介します。

※2019年11月30日現在

大学ローバー一覧

県連盟	団名	大学名	名称
栃木県連盟	小山第6団	白鷗大学	白鷗大学ローバースカウト同好会
群馬県連盟	高崎第19団	高崎経済大学	高経大 Rover Scout
神奈川県連盟	平塚第7団	東海大学	東海大学ローバースカウト
山梨連盟	甲府第12団	山梨学院大学	山梨学院大学ローバースカウト隊
	千代田第3団	中央大学	中央大学ローバークルー
	千代田第7団	明治大学	明治大学体育会ローバースカウト部
	千代田第8団	法政大学	法政大学ローバース部
	千代田第9団	日本大学	日本大学スカウト研究会
	千代田第10団	専修大学	専修大学ローバー
東京連盟	千代田第11団	上智大学	上智大学ローバース
	港第3団	慶應義塾大学	慶應義塾大学ローバークルー
	新宿第2団	早稲田大学	早稲田大学ローバース
	文京第2団	東洋大学	東洋大学ローバースカウト
	世田谷第12団	東京農業大学	東京農業大学農友会ローバークルー部
	世田谷第25団	国士舘大学	国士舘大学ローバークラブ
豊島	第8団	立教大学	立教ローバース
	板橋第9団	大東文化大学	大東文化大学ローバースカウト部
新潟連盟	新潟第19団	新潟青陵大学	新潟青陵ローバース
愛知連盟	名古屋第125団	中京大学	中京大学ローバース
	京都第36団	京都大学	京大ローバース
京都連盟	京都第40団	京都外国語大学	京都外国語大学スカウトクラブ
	京都第43団	同志社大学	同志社大学ローバース
	京都第90団	立命館大学	立命館大学ローバース
兵庫連盟	西宮第19団	関西学院大学	関西学院大学ローバース
奈良県連盟	天理第3団	天理大学	天理大学スカウティング同好会
大阪連盟	東大阪第7団	近畿大学	近畿大学文化会ローバースカウト部
鳥取連盟	鳥取第11団	鳥取大学	鳥取大学ローバー隊
香川連盟	高松第15団	高松大学	ローバースカウト高松第15団
大分県連盟	由布第2団	立命館アジア太平洋大学	APU ローバース



県連盟によっては地区や県でローバーの集まりがあるところもあり、大学ローバーがなくても転居先等で活動することができます。実際、転居先の県連盟に大学ローバーの有無を問い合わせたスカウトが、「進学先の大学にはないけれど、県にローバーの集まりがある」との誘いを受けて、その集まりに参加するようになったという例もあります。

ローバースカウトは地元の団に所属を残したまま、大学ローバーや転居先地域の団のローバー隊に重複登録することができます。長期休暇などで地元に戻ったときだけでなく、新たな生活の地でも普段から活動したいというスカウトには、まず転居先の県連盟に確認してみることをお勧めします。



ローバー年代のスカウトと指導者は、全国ローバースカウト会議(RCJ)の構成員でもあります。

日本連盟では、2019年度の事業計画において「ローバースカウト活動の充実」「RCJへの支援拡大」を成果目標に挙げています。その一環としてローバー年代向けの事業等を実施したり、ローバー年代が野外活動に関する知識と技能、指導力の向上や自然環境保護への関心を高める機会にするために、各種イベント等でスタッフの公募をしたりしました。

公募によりローバー年代が スタッフとして参画した事業

- **しぜんとあそびデイキャンプ2019**
高萩スカウトフィールドで、地元の小学生を対象に自然体験活動を実施。
- **親子キャンプ**
高萩スカウトフィールドで、地元の小学生と保護者を対象に自然体験活動を実施。
- **キッズフェスタのブース出展**
体験の風をおこそう運動推進委員会の主催で、春と秋に開催。
- **エコプロ2019のブース出展**
(一社)産業環境管理協会と日本経済新聞社の主催で、12月に開催。

ローバー年代向け事業

- **スカウトと社会をつなぐ場所**
スカウト活動で培ったスキルや体験を、企業や社会でどのように活かせるかをディスカッションする場です。継続的に実施しています。
- **RCJ フォーラム**
※2019年秋開催予定でしたが、台風により中止。改めて今年の9月20日(日)から22日(火)に開催を計画しています。

RCJについてはこちらをご覧ください。

<https://www.scout.or.jp/member/rcj/>

ニッポン全国 元気団 紹介

鳥取連盟 米子第8団

山陰のほぼ中央に位置し、南東には中国地方最高峰の大山、北に日本海、西にコハクチョウ渡来南限地でラムサル条約登録の中海がある、自然豊かな鳥取県米子市。ここに、創立55年を迎え、指導者の創意工夫で歩みを進める米子第8団がある。



愉快的仲間と楽しさを追求。

地元の若い力により発団

1965（昭和40）年、米子市青年会議所が地域の青少年健全育成について討議し、「ボーイスカウトの育成が有効である」と提唱した。

20歳から40歳以下の青年で構成される青年会議所の会員がボーイスカウトの指導者講習を受け、会員の子弟をスカウトに迎えて発団。発団から10年ほどは、青年会議所の青少年教育を担当する委員長が団委員長に就任するなどし、地域の若い力によって運営が行われた。現在も、育成母体は青年会議所にあり、合同行事の実施やチラシ作成など多くの支援を受けている。

発団2年目には、岡山県日本原で開催した「第4回日本ジャンボリー」にも参加した。

雪中訓練を行ったり、近隣の友朋団とナイトハイクなどの合同訓練を実施したりと、着



実に本格的な野外活動を展開していった。また、青年会議所にはボーイスカウト委員会が設立され、発足から5年経つころには、隣町の境港市の団設立に貢献するなど、活動の普及にも貢献した。

以来、青年会議所とのつながりという特性を生かして、地域に密着した活動に取り組み、今年で創立55年目を迎える。

最大限に楽しむ

かつて、スカウトが100人を超え、カブ隊とボーイ隊がそれぞれ2隊編成の時期もあった米子第8団。その後分封し、米子第11団を設立。現在も11団とは、同じ西部地区として協力しながら活動している。

現在の米子第8団はスカウト約45人。隊ごとに、また、その年ごとに、人数のばらつきはあるが、スカウトの興味や関心を大切にすること、そして最大限楽しく活動することを大切に、各隊が活動に励んでいる。

「活動をとにかく楽しむ。常に最大限に楽しむことが大切」という指導者の言葉に、スカウ



トを想う指導者の心意気が表れていた。

スカウトの人数が少ないと、十分な班制教育が展開できない。そこに焦りと反省はある。しかし、指導者が浮かない顔をしてはいられない。そこで、問題意識は持ちながらも、人数が少ないことを単純にマイナスとせず、プラスに捉えて考えることにした。

人数が少ない時だからこそ、スカウトそれぞれが希望することの実現に力を注ぐ。与えられただけの活動に参加するのではなく、スカウトが自分たちでルールを敷いて「楽しいと思う活動」「今できる自分たちの最大限の活動」に挑戦する。そして、スカウトと指導者がともに楽しむことで、ボーイスカウトという「ひとつの居場所」が確立する。これこそが、8団が展開するスカウトのための活動だ。

発想の転換と見える化の推進

スカウトハウスの場所が使えなくなってしまったときも、「場所がなくなって困った」ではなく、「今までよりも、親子連れが多く訪れる地域の場に出て、活動を知ってもらう機会になる」とプラスに捉えることにした。

実際に、人目につくところで活動するようになったことで、「子どもたちが集まって何かしている」というアピールになり、ボーイスカウトが活動していることを知ってもらうことのスタートラインに立てた。

活動を見て興味をもってもらえたのはよかったが、新たな問題が見えてきた。

初めは「何かしているけれど、何の団体で、何をしているのか」が伝わらず、声をかけられ

ても「私たちはボーイスカウトで、……」と、ゼロから説明をするため、時間がかかるうえ、活動中に貴重な指導者が一人、説明に回らなくてはならない。そこで、効果的に活動をアピールできる方法を検討。「ボーイスカウト活動中」というのぼり旗を作成し、掲げることにした。

すると効果てきめん。第一声が「ボーイスカウトなんですね」にかわり、説明の時間短縮につながった。今では、10本で製作費18,000円ののぼり旗が、活動を後押ししている。

関わる人すべてが宝

スカウトのための活動。子どもがいなければ成り立たないのももちろんのこと。だからこそ、新規スカウト獲得に力を注いできた。しかし、ふと気がつけば、今度は指導者や団委員の人手が足りず、役務を兼務する指導者も少なくない。その分、指導者は負担も増えるが、スカウトのために常に一生懸命な米子第8団。

隊指導者には、スカウトOBのベテランも、若手の富士スカウトOBもいる。特にビーバ一隊は保護者から指導者になった女性陣が活躍し、新規スカウト獲得を支えている。

団は、そんな協力的な指導者や保護者に常に感謝し、少しでも気持ちの負担を減らしたいと考えている。さまざまな都合でスカウトが減少し、これを気にする指導者には「良いことをしていると自信をもって活動していれば、仲間は増える」と伝え、自分たちの活動を信じ、仲間を大切にしてきたという自負がある。

前向きに、そして真摯に活動に取り組むことで、地域とのつながりを守り、信頼を得て、これからも地域に根付いた活動を続けていくことだろう。



お話を伺った皆さん。笑顔の中にも真剣なまなざしでお話しいただきました。

■ 野外活動のための安心・安全講座

アレルギーの話

1. アレルギーって？

私たちの体には、細菌やウイルス、花粉やほこりなどの異物（抗原）から身を守る「免疫」という仕組みが備わっています。外部から体内に侵入しようとする抗原を撃退する仕組みで、抗原が体内に入るとそれに対抗する物質（抗体）が作られ、抗原を排除しようとします。

ところが、再度、抗原が体内に侵入しようとしたときに、この免疫機能が過剰に働くと、体にとって都合の悪い、アレルギー症状が出てしまいます。

アレルギーを引き起こす抗原（アレルゲン）には、細菌やウイルス、食物以外にも、花粉やほこり（ハウスダスト）などがあり、生活環境やライフサイクルによる影響もありますが、遺伝的な体質に関わっているともいわれています。

アレルゲンによって引き起こされる症状として、じんましん、湿疹、皮膚炎、喘息、鼻水、涙目、目のまわりのかゆみ、頭痛、発熱などがあります。アレルギー症状で最も多いのが皮膚症状です。呼吸器症状、粘膜症状、消化器症状などの症状も、同時または別々に出現することがあります。



（公益財団法人ニッポンハム食の未来財団 ホームページ参照）

2. アレルギーを起こす人って？

遺伝的にアレルギー体質をもっている人といわれていますが、それ以外では、食生活の変化が大きく影響を与えています。主にインスタント食品やスナック菓子などの影響があり、次に、自律神経を乱す睡眠不足や不規則な生活、ストレスなどが原因といわれています。

3. アレルギー症状を軽くするために

規則正しい食生活を心がけましょう。暴飲暴食は避け、お酒や甘いものは控えめにしましょう。普段から栄養バランスの良い食事を心がけ、体に優しい野菜や緑茶をとるようにしましょう。

そして、何よりも、アレルゲンを避けることが大切です。アレルギー性鼻炎であれば、マスクなどをして花粉やハウスダスト、ほこりを近づけないこと。食物アレルギーであれば、アレルゲンとなる食品をとらないことです。食品については、表示が義務づけられているので、必ず確認しましょう。

4. 予防対策

野外活動において安全を考えるうえで、次のことに注意しましょう。

- ① 入隊時や活動前など、事前に活動参加者の健康調査を実施し、アレルギーの有無を確認しておくこと。特に、食物アレルギーについては、アレルゲンの食材を特定しておくこと。
- ② 食物アレルギーの該当者がいる場合は、安全対策計画書の中で、献立や食材をチェックしておくこと。また、代用食材（献立）を準備しておくこと。
- ③ 自分たちで調理しない場合は、事前に、調理する人に食物アレルギーがあることを連絡しておくこと。
- ④ 野外では、マスクをするなどして、体内にアレルゲンを侵入させないようにすること。

「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会

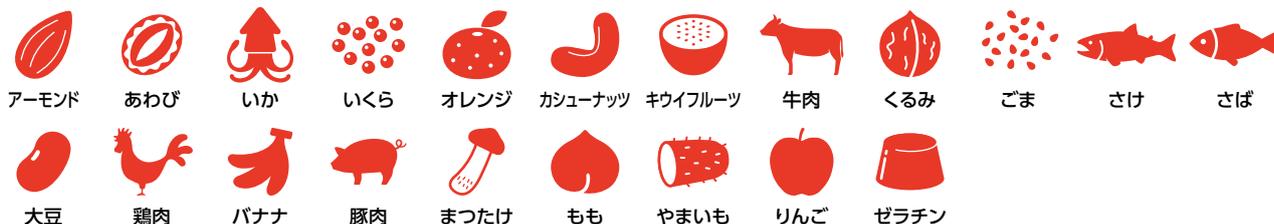
参考文献：大阪連盟『新・野外活動の安全 Q&A』

加工食品に含まれるアレルギー表示対象品目（消費者庁『アレルギー物質を含む食品に関する表示指導要領』参照）

■ 表示が義務づけられている7品目



■ 表示が奨励されている21品目



※ 表示義務は、箱や袋で包装されている加工食品や缶詰めやビン詰めなどのみのため、デパートやスーパーの量り売りの惣菜、その場で包装するパンやケーキ、コンビニエンスストアの店内で調理されるおでん、飲食店のメニューなどは対象外です。アレルゲンが材料に含まれていないか、その都度、確認が必要です。



スカウトの成長はあなたの研修から!!

世界スカウト機構 (WOSM) が提唱する AIS ポリシー (Adults in Scouting World Policy : スカウト運動における成人に関する世界方針) では、「スカウトの教育、成長のためには成人の関わりが不可欠である」といっています。そして、指導者がスカウトとともに活動をし、さらに研修や研鑽を重ねることで自分自身も成長し続けていくことが、スカウティングの世界共通のポリシーです。令和2年度の各種指導者訓練コース開設予定 (2020年2月10日現在) を掲載します。ぜひ各種訓練にご参加ください。

● ボーイスカウト講習会

ボーイスカウト講習会は、スカウト活動に関わり始めた方、スカウトから指導者へと進んだ方を対象に各地区 (または県連盟) 主催で開催されます。講習内容の見直しを行い、令和2年度からは、野外での活動やゲームなどを通じて実際の活動の一部を体験する内容を、より多く取り入れていきます。スカウトたちのために、仲間とともにボーイスカウト運動の入り口に立ってみませんか。



● 基礎訓練 (研修所)、上級訓練 (実修所)

隊や団の指導者の方には、活動を進めるためのさまざまな知識や技能、心構えを修得するための研修があります。特に基礎訓練は、隊や団の指導者にとって必須の研修であり、楽しい活動やスカウトの成長を促す活動を、体験を通じて学びます。また、基礎訓練を修了し、一定の経験を積んだ指導者に向けて、上級訓練を開催しています。スカウトたちの活動のため、そして自分自身の成長のためにも、上級訓練を目指してスカウトとともに活動していきましょう。

■ ウッドバッジ研修所

スカウトコース

No	開設県	名称	期数	期間	場所
1	岩手	東北	第7期	5/2~5/5	岩手県立県南青少年の家
2	福島	東北	第6期	5/2~5/5	つづが森野営場
3	茨城	茨城	第4期	10/31~11/3	土浦市青少年の家
4	栃木	栃木	第3期	5/2~5/5	栃木県連盟野営場
5	群馬	群馬	第3期	9/19~9/22	赤城少年自然の家
6	千葉	千葉	第8期	5/3~5/6	未定
7		千葉	第9期	9/19~9/22	未定
8	神奈川	神奈川	第11期	5/2~5/5	御胎内清宏園
9		神奈川	第12期	8/20~8/23	富士吉田市立青少年センター
10		神奈川	第13期	10/1~10/4	村雲山中湖キャンプ場
11		神奈川	第14期	令和3年3/18~3/21	未定
12	東京	東京	第13期	4/26~4/29	日向野営場
13		東京	第14期	5/3~5/6	日向野営場
14		東京	第15期	9/19~9/22	日向野営場
15	富山	富山	第3期	9/19~9/22	小矢部市立岩尾滝くろぎ交流館
16	石川	石川	第3期	9/19~9/22	金沢少年の森
17	長野	長野	第3期	5/2~5/5	礪石キャンプ場
18	岐阜	岐阜	第4期	5/2~5/5	富加の森野営場
19	静岡	静岡	第8期	5/3~5/6	MOA 研修センター
20		静岡	第9期	9/19~9/22	太田山野営場
21	愛知	愛知	第14期	10/31~11/3	新城・吉川野営場
22	三重	三重	第2期	9/19~9/22	鈴鹿峠自然の家
23	京都	京都	第4期	5/3~5/6	広河原野営場
24	兵庫	兵庫	第7期	5/3~5/6	加古川市立少年自然の家
25		兵庫	第8期	9/19~9/22	兵庫県立姫野台生涯教育センター
26	奈良	奈良	第3期	7/23~7/26	はやまの森野営場
27	和歌山	和歌山	第2期	9/19~9/22	和歌山県立紀北青少年の家
28	大阪	大阪	第10期	5/2~5/5	キャンプおおさか
29		大阪	第11期	5/3~5/6	キャンプおおさか
30	広島	広島	第5期	5/3~5/6	鷹ノ巣山キャンプ場
31	愛媛	中国・四国	第6期	5/3~5/6	松山市野外活動センター
32	福岡	九州・沖縄	第11期	5/3~5/6	脇山野営場
33	佐賀	九州・沖縄	第12期	9/19~9/22	北山少年自然の家
34	宮崎	九州・沖縄	第13期	11/20~11/23	宮崎連盟野外活動センター
35	沖縄	九州・沖縄	第14期	11/20~11/23	沖縄県連盟源河野営場

スカウトコース + 課程別研修 (一括開設型)

No	開設県	名称	期数	期間	場所
1	北海道	北海道	第3期	5/2~5/5	旭川地区野営場
2	宮城	東北	第8期	9/19~9/22	鹿島台学童農園
3	埼玉	埼玉	第8期	5/2~5/5	那須野営場
4		埼玉	第9期	10/31~11/3	那須野営場
5	愛知	愛知	第12期	4/29~5/2	新城・吉川野営場
6		愛知	第13期	5/3~5/6	新城・吉川野営場

課程別研修

No	開設県	名称	期数	期間	場所
1	北海道	北海道	第3回	7/19	北海道ボーイスカウト会館
2	茨城	茨城	第4回	11/15	土浦市青少年の家
3	群馬	群馬	第4回	11/15	群馬県青少年会館
4	埼玉	埼玉	第3回	(令和3年3月)	未定
5	千葉	千葉	第7回	6/21	未定
6		千葉	第8回	11/29	未定
7	神奈川	神奈川	第11回	5/17	神奈川スカウト会館
8		神奈川	第12回	9/6	未定
9		神奈川	第13回	10/18	未定
10		神奈川	第14回	令和3年3/28	神奈川スカウト会館
11	東京	東京	第7回	6/7	国立オリンピック記念青少年総合センター
12	東京	東京	第8回	10/11	国立オリンピック記念青少年総合センター
13	長野	長野	第4回	6/21	松本青年の家
14	岐阜	岐阜	第4回	5/17	稲羽コミュニティセンター
15	静岡	静岡	第8回	5/17	静岡県青少年会館
16	静岡	静岡	第9回	10/11	静岡県青少年会館
17	愛知	愛知	第10回	11/29	未定
18	滋賀	滋賀	第1回	5/24	大津市ふれあいプラザ
19	京都	京都	第3回	9/27	京都府民総合交流プラザ会議室
20	大阪	大阪	第5回	5/17	大阪スカウト会館
21	広島	広島	第4回	5/23	カトリック観音町教会
22	山口	山口	第2回	6/28	秋穂地域交流センター
23	福岡	福岡	第6回	5/16	シーオーレ新宮
24	福岡	福岡	第7回	11/14	シーオーレ新宮
25	熊本	熊本	第1回	12/13	東部公民館
26	沖縄	沖縄	第1回	12/20	沖縄県連盟事務局
1	北海道	北海道	第4回	6/14	北海道ボーイスカウト会館
2	福島	福島	第1回	(6月)	未定
3	茨城	茨城	第4回	11/15	土浦市青少年の家
4	栃木	栃木	第2回	7/5	栃木県立美術館アートラウンジ A
5	群馬	群馬	第4回	11/15	群馬県青少年会館
6	埼玉	埼玉	第3回	(令和3年3月)	未定
7	千葉	千葉	第7回	6/21	未定
8		千葉	第8回	11/29	未定
9	神奈川	神奈川	第11回	5/17	神奈川スカウト会館
10		神奈川	第12回	9/6	未定
11		神奈川	第13回	10/18	未定
12		神奈川	第14回	令和3年3/28	神奈川スカウト会館
13	東京	東京	第7回	6/7	国立オリンピック記念青少年総合センター
14	東京	東京	第8回	10/11	国立オリンピック記念青少年総合センター
15	富山	富山	第3回	11/29	呉羽青少年自然の家
16	長野	長野	第4回	6/21	松本青年の家
17	岐阜	岐阜	第4回	5/17	稲羽コミュニティセンター
18	静岡	静岡	第8回	5/17	静岡県青少年会館
19	静岡	静岡	第9回	10/11	静岡県青少年会館
20	愛知	愛知	第11回	11/29	未定
21	滋賀	滋賀	第2回	10/25	草津市立まちづくりセンター
22	兵庫	兵庫	第4回	11/1	こうべ市民福祉交流センター

23	奈良	奈良	第2回	6/7	大和郡山市立三の丸会館
24	大阪	大阪	第5回	5/17	大阪スカウト会館
25	広島	広島	第4回	5/23	カトリック観音町教会
26	香川	香川	第2回	6/21	香川県青年センター
27	愛媛	愛媛	第3回	6/21	松山市青少年センター
28	福岡	福岡	第6回	5/17	シーオーレ新宮
29	福岡	福岡	第7回	11/15	シーオーレ新宮
30	佐賀	佐賀	第1回	11/29	三日月野外研修センター
31	大分	大分	第2回	11/29	大分県森づくりボランティア支援センター
32	宮崎	宮崎	第1回	12/13	宮崎連盟野外活動センター
33	沖縄	沖縄	第1回	令和3年1/17	沖縄県連盟事務局
1	北海道	北海道	第4回	8/23	北海道ボーイスカウト会館
2	茨城	茨城	第4回	11/15	土浦市青少年の家
3	栃木	栃木	第2回	9/27	栃木県立美術館アートラウンジA
4	群馬	群馬	第3回	令和3年2/28	群馬県青少年会館
5	埼玉	埼玉	第3回	(令和3年3月)	未定
6	千葉	千葉	第7回	6/21	未定
7	千葉	千葉	第8回	11/29	未定
8	神奈川	神奈川	第11回	5/17	神奈川スカウト会館
9	神奈川	神奈川	第12回	9/6	未定
10	神奈川	神奈川	第13回	10/18	未定
11	神奈川	神奈川	第14回	令和3年3/28	神奈川スカウト会館
12	東京	東京	第7回	6/14	国立オリンピック記念青少年総合センター
13	東京	東京	第8回	10/18	国立オリンピック記念青少年総合センター
14	富山	富山	第2回	11/29	呉羽青少年自然の家
15	石川	石川	第2回	10/25	野々市市富奥コミュニティセンター
16	長野	長野	第3回	6/21	松本青年の家
17	岐阜	岐阜	第4回	5/17	稲羽コミュニティセンター
18	静岡	静岡	第8回	5/17	静岡県青少年会館
19	静岡	静岡	第9回	10/11	静岡県青少年会館
20	愛知	愛知	第12回	12/6	未定
21	三重	三重	第3回	10/11	津市青少年野外活動センター
22	京都	京都	第2回	6/28	京都府民総合交流プラザ会議室
23	奈良	奈良	第2回	10/4	大和郡山市立三の丸会館
24	和歌山	和歌山	第2回	6/21	未定
25	大阪	大阪	第6回	10/18	大阪スカウト会館
26	広島	広島	第4回	5/24	カトリック観音町教会
27	山口	山口	第4回	6/28	秋穂地域交流センター
28	香川	香川	第2回	6/7	香川県青年センター
29	愛媛	愛媛	第2回	6/14	松山市青少年センター
30	福岡	福岡	第6回	5/16	シーオーレ新宮
31	福岡	福岡	第7回	11/14	シーオーレ新宮
32	鹿児島	鹿児島	第1回	令和3年1/31	鹿児島県連盟野下野営場
33	沖縄	沖縄	第1回	令和3年2/28	沖縄県連盟事務局
1	北海道	北海道	第4回	9/13	北海道ボーイスカウト会館
2	福島	福島	第1回	7月	未定
3	茨城	茨城	第3回	11/15	土浦市青少年の家
4	群馬	群馬	第3回	令和3年2/28	群馬県青少年会館
5	埼玉	埼玉	第3回	(令和3年3月)	未定
6	千葉	千葉	第7回	6/21	未定
7	千葉	千葉	第8回	11/29	未定
8	神奈川	神奈川	第11回	5/17	神奈川スカウト会館
9	神奈川	神奈川	第12回	9/6	未定
10	神奈川	神奈川	第13回	10/18	未定
11	神奈川	神奈川	第14回	令和3年3/28	神奈川スカウト会館
12	東京	東京	第7回	6/14	国立オリンピック記念青少年総合センター
13	東京	東京	第8回	10/18	国立オリンピック記念青少年総合センター
14	石川	石川	第2回	10/25	野々市市富奥コミュニティセンター
15	長野	長野	第4回	6/21	松本青年の家
16	岐阜	岐阜	第4回	5/17	稲羽コミュニティセンター
17	静岡	静岡	第7回	5/17	静岡県青少年会館
18	静岡	静岡	第8回	10/11	静岡県青少年会館
19	愛知	愛知	第10回	12/6	未定
20	三重	三重	第1回	10/18	三重県総合文化センター
21	兵庫	兵庫	第2回	6/7	姫路市勤労市民会館
22	和歌山	和歌山	第1回	10/25	未定
23	大阪	大阪	第4回	10/18	大阪スカウト会館
24	広島	広島	第3回	5/24	カトリック観音町教会
25	徳島	徳島	第1回	4/18	エコみらいとくしま
26	福岡	福岡	第6回	5/17	シーオーレ新宮
27	福岡	福岡	第7回	11/15	シーオーレ新宮
28	沖縄	沖縄	第1回	令和3年3/14	沖縄県連盟事務局

■ 団委員研修所

No	開設県	名称	期数	期間	場所
1	山形	山形	第1期	9/11～9/13	山形県青年の家
2	埼玉	関東	第23期	11/21～11/23	国立女性教育会館
3	千葉	千葉	第30期	11/21～11/23	未定
4	神奈川	神奈川	第35期	5/3～5/5	川崎市青少年の家
5	東京	東京	第33期	5/3～5/5	国立オリンピック記念青少年総合センター
6	福井	福井	第5期	11/21～11/23	鱈江青年の家
7	静岡	静岡	第28期	5/3～5/5	三島市立箱根の里少年自然の家
8	愛知	愛知	第41期	11/21～11/23	新東工業研修センター
9	滋賀	滋賀	第11期	9/20～9/22	ノートルダム学院小学校山の家
10	兵庫	兵庫	第28期	11/21～11/23	生涯学習センター学遊館
11	岡山	中国・四国	第15期	11/23～11/25	青少年教育センター和気開谷学校

■ 隊指導者上級訓練(ウッドバッジ実修所)

No	課程	期数	期間	場所
1	B V S	第44期	11/20～11/23	脇山野営場(福岡県福岡市)
2		第171期	5/2～5/5	太田山野営場(静岡県浜松市)
3	C S	第172期	9/19～9/22	那須野営場(栃木県那須塩原市)
4		第173期	令和3年2/11～2/14	源河野営場(沖縄県名護市)
5		第201期	5/2～5/6	高萩スカウトフィールド(茨城県高萩市)
6	B S	第202期	5/2～5/6	はやまの森野営場(奈良県奈良市)
7		第203期	9/18～9/22	御胎内清宏園(静岡県御殿場市)
8	V S	第32期	5/2～5/6	那須野営場(栃木県那須塩原市)

■ 団指導者上級訓練(団委員実修所)

No	期数	期間	場所
1	第28期	11/21～11/23	川崎市青少年の家(神奈川県川崎市)
2	第29期	11/21～11/23	新城・吉川野営場(愛知県新城市)

● ウッドクラフトコース

ボーイスカウト運動を効果的に進めるための教育の場が、野外で行うキャンプです。そのキャンプの醍醐味とスカウト教育の本質を体得していただくための研修が、ウッドクラフトコースです。

通常の研修とは異なり、キャンプ生活を通じて野外でのさまざまな活動を行い、プログラム展開を体験していただきます。隊指導者上級訓練修了者を対象にした5泊6日のキャンプ生活ですが、スカウト活動の醍醐味であるキャンプの楽しさをスカウトに伝えるためにも、ぜひ研修に参加してください。

■ ウッドクラフトコース

No	期数	期間	場所
1	第2期	7/21～7/26	脇山野営場(福岡県福岡市)
2	第3期	9/17～9/22	新城・吉川野営場(愛知県新城市)
3	第4期	9/17～9/22	キャンポおおさか(大阪府枚方市)

● コミッショナーコース

コミッショナーは、すべての指導者に支援を行うためにさまざまな研修に取り組みます。社会の変化や実情に合わせた支援を行うため、令和3年度にコミッショナーの訓練を改定予定です。令和2年度はコミッショナーベシットトレーニングを試行します。既存の訓練を修了した方も、ぜひ新しい時代に合わせたコミッショナーの訓練に取り組んでみてはいかがでしょうか。

■ コミッショナー基礎訓練

コミッショナー研修所

No	開設県	名称	期数	期間	場所
1	新潟	新潟	第2期	5/3～5/5	五頭連峰少年自然の家

コミッショナーベシットトレーニング(仮称)

No	開設県	期数	期間	場所
1	東京	未定		日向野営場
2	静岡		9/19～9/22	未定
3	京都		9/19～9/22	静原キャンプ場
4	福岡		10/8～10/11	脇山野営場

● トレーナーコース

日本連盟および県連盟が開設する各種訓練の開発や運営を行っていた方の方のためのコースです。指導者として一定の経験と研修を受けた方を対象に、県連盟が推薦をしたのち、その適正と課題の成果を判断して選考された方が参加します。

■ 副リーダートレーナーコース

No	期数	期間	場所
1	第64期	6/10～6/14	那須野営場(栃木県那須塩原市)

■ リーダートレーナーコース

No	期数	期間	場所
1	第39期	6/24～6/28	高萩スカウトフィールド(茨城県高萩市)

※ AISポリシーおよび各訓練の流れについては、本誌2019年11月号(No.734)をご参照ください。

※ 各コース開設予定の最新情報は、ホームページでご確認いただけます。

https://www.scout.or.jp/member/establishment_schedule2020/



報告

2019年度 日韓スカウト交歓計画

日韓スカウト交歓計画は、日本と韓国のスカウトが両国の理解を深め、より良好な関係を築くことを目的として1999（平成11）年から実施しています。これまでに通算約2,200人の韓国スカウトと指導者が来日し、日本のスカウトと交流を深めています。また、日本からも韓日スカウトフォーラム等へ派遣をしています。

開催20回目を迎えた今回は、1月11日（土）から19日（日）までの9日間、大阪、兵庫、京都を会場に、交歓計画を実施しました。今号はその様子をご紹介します。



■日程 1月11日（土）～13日（月）日韓スカウト交流プログラム / 14日（火）～17日（金）韓国派遣団見学プログラム / 18日（土）～19日（日）韓国派遣団ホームステイ ■場所 大阪、京都、兵庫 ■人数 韓国連盟参加者 計40人（スカウト36人、指導者4人）、日本連盟参加者 計46人（29県連盟）

■日韓スカウト交流プログラム



日本のスカウトが交流プログラムの実施会場である大阪・羽衣青少年センターで韓国派遣団を出迎え、3日間の交流プログラムがスタート。

初日は交歓計画の開会式と歓迎夕食会を行い、交流プログラムのオリエンテーションでは、国連の「アジェンダ 2030」の成立とその背景、持続可能な開発目標（SDGs）についての問題提起およびスカウティングの関連性について学びました。

2日目の午前はシンポジウムでSDGsの各目標について理解を深め、午後は日韓の混成グループに分かれてフォーラム形式で課題の掘り下げと具体策を考察し、両国で実践できるアクションプランを検討しました。

スカウトが楽しみにしていた文化交流会では、両国スカウトが準備してきたダンスを披露し合い、大

いに盛り上がりました。さらに、韓国スカウトが、韓国のお菓子や伝統衣装である韓服を紹介してくれました。

最終日の全体会では、2日目の分科会でグループごとにまとめた、SDGsの目標「健康、福祉」と「気候変動」の課題解決に向けた行動計画について意見を交えました。

交流プログラムの閉会式において、日韓両国のスカウトが採択したアクションプランを発表し、それぞれの地域で実際に取り組んでいくことを確認しました。

今回の交流プログラムは、開催地である大阪のほか、近隣県より京都、兵庫および奈良、過去の開催地である神奈川と福岡のローバースカウトが中心になり運営しました。

■韓国スカウト各地見学およびホームステイ



交流プログラム後、韓国スカウトは大阪、兵庫、京都の各地を見学。

大阪では、東大阪市の町工場を訪問し、「ものづくり」への情熱とイノベーションの気風に触れたほか、大韓国民団大阪府本部と生野コリアタウンを訪問し、日韓交流の歴史と融合文化を体験。大阪スカウト会館も訪問しました。

兵庫では、パナソニックエコテクノロジーセンターで、循環型モノづくりと家電リサイクルについて学んだほか、姫路城や西宮ガーデンズを訪れました。

京都では、三十三間堂と金閣寺を訪問し、世界文化遺産の荘厳な雰囲気を感じた。小川流煎茶道場では、煎茶道を体験し、日本のおもてなしの心を学びました。

このほか、学校法人金剛学園と東大阪市立日新高等学校を訪れ、生徒たちとも交流。最後のプログラムであるホームステイでは、2泊3日をホスト家庭で家族の一員として過ごし、日本の生活習慣や文化を学びました。

参加スカウトの声（抜粋・要約）

- 英語で話し合うのは大変だったが、大きな問題も小さなことから始められると感じました。
- 日本に初めて来た。大阪は聞いたことがあり一度来てみたかったので、よかったです。忘れられない経験ができました。
- 自分の意見を伝えるのがあまり得意ではなかったけれど、今回のプログラムを通じて積極的に発言できるようになりました。

- 日本の方がたくさんできました。一生忘れない体験となりました。
- 毎日が楽しくて最高でした。ローバーになったら、ファシリテーターをしたいです。
- ただの観光では経験できないことができました。日本と韓国の似ているところと違いが分かりました。
- 思った以上に英語が通じて嬉しかったです。これからも英語力を高めていきたいです。

スカウティングとSDGs

— 一緒に考えよう！ 持続可能な社会のために —



持続可能な社会のために私たちにできることは、難しい取り組みばかりではありません。

前号では、地域や学校、職場や家庭などの日常生活でできる取り組みとして、「持続可能な社会のために、これまでの生活や取り組みを少しだけ見直すこと」をご紹介します。

引き続き、団や家庭で取り組める行動について考えてみましょう。今号では、地球規模の課題に取り組む2つの団体の活動から、私たちにも取り組めることと、スカウトの先輩の取り組みをご紹介します。

団体の取り組みから考えよう

EARTH HOUR (アースアワー)

3月28日(土)



アースアワーは、「世界中の人々が同じ日に消灯することで、地球温暖化防止と環境保全の意志を示す」という、世界最大の環境アクションです。日付変更線に近い南太平洋諸国から、現地時間20:30を迎えた地域が順次1時間消灯することで、消灯リレーが地球をぐるりと1周します。

2007年にWWF(世界自然保護基金)^{*1}オーストラリアの地球温暖化防止キャンペーンとして始まり、2019年には世界188の国と地域で実施されました。

多くの方は自宅でゆったりしている時間でしょうか。人によっては団で活動中、会社やアルバイト先、学校などにいるかもしれません。それぞれ別の場所にいながら、1時間消灯するだけで参加できる取り組みです。ろうそくの灯りの中で、ゆっくりとした時間を家族と過ごしたり、夜本来の暗さや静けさを体感したりしてみませんか。

Zero Hunger Challenge (ゼロハンガーチャレンジ)

10月1日(木)~31日(土)



世界には人口76億人を十分に賄える食料があるにもかかわらず、およそ9人に1人(約8億2100万人)が飢えに苦しんでいます。一方で、世界の食料生産量の3分の1が廃棄され、日本でも年間約650万トンの食品ロスを生んでいるといわれています。

ゼロハンガーチャレンジは国連WFP協会^{*2}による取り組みです。捨ててしまいがちな食材(野菜の皮や切れ端)などを使った料理の写真をSNSに投稿すると、協力企業から120円が寄付され、アフリカの子どもたちに学校給食を届けることができます(120円で学校給食4日分)。

皆さんは、野菜などの切れ端や食べ残しなどをゴミとして捨てていませんか。傷みやすい食材や余らせがちな食材を知り、できるだけ使い切る工夫をしてみましょう。そして、そのレシピを組や班、隊の活動で共有して、キャンプや活動で作ってみましょう。

*1 WWF(世界自然保護基金): 人類が自然と調和して生きられる未来を目指し、約100か国で活動している世界最大規模の環境保全団体です。私たちの制服に着用する世界環境保護バッジや「スカウトの日」の活動資料の開発でもご協力いただいています。

*2 国連WFP協会: 飢餓と貧困の撲滅を使命とするWFP国連世界食糧計画を支援する認定NPO法人で、日本におけるWFP国連世界食糧計画の公式支援窓口です。近年では、全国スカウトフォーラムでゲストスピーカーとしてご協力いただきました。

教えて！先輩

中圓尾 岳大さん

(愛媛・西条第11団ローバースカウト/株式会社権茸祭)

中学時代から気候変動に興味があり、ボーイ隊でキャンプをしながら環境について学んでいました。また、スウェーデンで世界スカウトジャンボリーに参加したときは、国によっては参加できないスカウトがいることを知り、楽しい思いとは別に世界の不平等を感じていました。

大学進学で東京にきてから、大学ローバーの活動やNPO活動への参画などで充実してはいましたが、就職活動では自分が企業に勤めていくイメージをもてずにいました。そんなとき、人や社会のつながりを研究するNPOのインターンを経験させてもらいました。そして、イベントや組織の運営を学ぶうちに、社会に対し「楽しく世界を変えていくという関わり方をしたい」と考え、今の会社に入社しました。

会社では、しいたけのうまみを抽出して、コーヒーや紅茶などのように一息つくための「飲むお出汁」を販売しています。菜食主義の方にも飲んでいただけるように、動物性のも、保存料、人工添加物など、余計なものを使わないものづくりを心がけており、今後は容器も再生可能なものにするを目指しています。

さまざまな経験をし、どの立場でも自分がやってみたいことや楽しいことを続けるのが大切だと思うようになりました。皆さんもボーイスカウトの活動の中で「自分がやってみたいこと」を見つけてください。



SCOUTS
forSDGs

「そなえよつねに」 —災害への備え—

1995（平成7）年に起きた阪神・淡路大震災から25年。以降、日本各地で発生した人的被害を伴う震度6弱以上の地震は20回を超えています。近年では、東日本大震災によって引き起こされた津波のほか、台風や豪雨による水害、竜巻等の突風災害、火山噴火など、多くの自然災害に見舞われ、いまや日本は「災害大国」といわれるほどです。

四季があり豊かな自然に恵まれている日本ですが、一方で、地形や気象等による災害の発生率が高く、非常に厳しい自然条件であるといえます。自然を教場にするボーイスカウトだからこそ、自然とうまく付き合い、災害時などに適切な対応ができるよう、日ごろの備えが重要です。今号では、災害への備えについて考えていきます。

1. 防災教育の重要性

文部科学省では、2011年に発生した東日本大震災を契機に防災教育・防災管理等の見直しを行い、2013年に『「生きる力」を育む防災教育の展開』という学校防災の参考資料を発行しました。これは、子どもたちの発達段階や地域の実情に応じた防災教育のためのものです。そこには、下記のように各段階における防災教育の目標が定められています。

高等学校段階	安全で安心な社会づくりへの参画を意識し、地域の防災活動や災害時の支援活動において適切な役割を自ら判断し行動できる生徒
中学校段階	日常の備えや的確な判断のもと主体的に行動するとともに、地域の防災活動や災害時の助け合いの大切さを理解し、すすんで活動できる生徒
小学校段階	日常生活のさまざまな場面で発生する災害の危険を理解し、安全な行動ができるようにするとともに、他の人々の安全にも気配りできる児童
幼稚園段階	安全に生活し、緊急時に教職員や保護者の指示に従い、落ち着いて素早く行動できる幼児

さらに、それぞれの段階において、【知識、思考・判断】【危険予測、主体的な行動】【社会貢献、支援者の基盤】といったポイントに沿った目標が掲げられています。これらの目標は、スカウト活動においても参考になるでしょう。「災害」の発生は予知できませんし、ふだんから自然の中で活動しているスカウトは常に危険と隣り合わせという緊張感をもって活動に臨むことが重要です。そのためにも、各隊の活動の中で、「もしもの時」に対する各年代に応じた意識づけと取り組みをしていきましょう。



2. 活動のプログラムとして取り組む「防災」

スカウトが防災活動を通じて地域との連携を深めることは、スカウト教育法の要素の一つである「社会との協同」の視点からみても教育的に大きな意義があります。

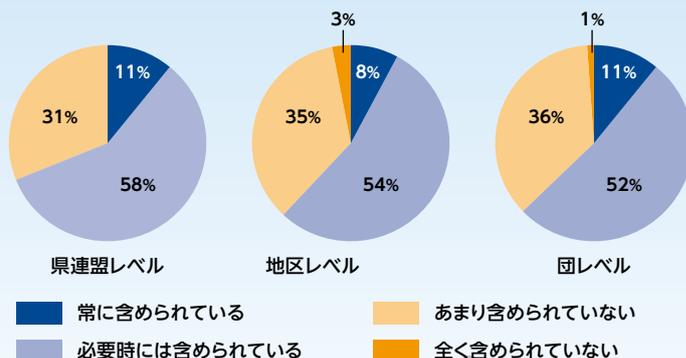
日本連盟では、2016（平成28）年から理事会のもとに、従来の災害時の対応策を有機的に組織として体系化すること、また、多くの加盟員（特にスカウト）への防災教育を進めることにねらいをおいた「防災危機管理タスクチーム」を編成し、スカウトが地域とともにどのような災害対応ができるかを検討してきました。



検討を重ねる中で、全国の県連盟の協力により2018年に実施したアンケートの結果から、各地で「防災」「減災」などをテーマにした活動が行われていることや、「防災」「減災」に対する意識が高いことが分かりました。また、スカウトプログラム（主に進歩・進級課題）を改めて見直してみると、「防災」「減災」に役立つ知識や技能、態度を養成する課目が散見されます。

この項では、これらの状況からタスクチームが検討した内容をもとに、スカウト活動における①防災教育 ②広報活動（啓発活動）③災害支援（対応）の3つの取り組みについてご紹介します。

参考 日常のスカウト活動やプログラムで「防災」や「危機管理」に関係する要素を含めた活動をしているか？



防災教育

防災章

ボーイスカウトおよびベンチャースカウトが取り組む技能章に「防災章」が加わりました。「防災章」は、地震、台風など自然災害の多い日本において、スカウトたちが自然災害に対する知識を高め、自らの命を守り、地域社会のためにどう貢献すべきかを理解し、実践できる能力を高めることを目的としています。



そこで、災害に対する知識（知っている）と、災害対応能力（動ける）を兼ね備えたスカウトの育成を目指すとともに、この章に挑戦したスカウトが、将来的に防災関連の資格取得にもつなげられるように設定しています。

※ 技能章の認定を行う審査員については、上記のとおり、知識と災害対応能力を兼ね備えた実務経験者（例として、消防職員、消防団員、災害関連事業に従事する者、行政の防災担当職員、防災士の資格を有する者、防火管理者の資格を有する者や企業などでBCP（事業継続計画）の策定に携わる者など）が望ましい。

【防災章（課目）】

- ① 地震発生メカニズムや日本で地震が多く発生する理由について説明できること。
- ② 自宅や外出時における地震発生の際に適切な対応行動が説明できること。
- ③ 集中豪雨、ゲリラ豪雨（短時間集中豪雨）、土砂災害などの風水害発生時の初動について説明し、行動できること。
- ④ 自宅や学校、団本部などの減災対策が説明でき、準備すること。
- ⑤ 避難所運営の意義、必要性を知り、開設のプロセスを説明できること。
- ⑥ 自分が住む市町村の防災に関する計画を調べ、説明できること。
- ⑦ 自治会、町会などの地域、行政が主催する防災訓練、避難訓練や初期消火訓練などに参加し、感想などをまとめること。
- ⑧ 自宅および活動場所から近隣の避難場所を探し、ルートを示すこと。
- ⑨ 身の周りの物を使って防災グッズを5点以上作り、提出すること。
- ⑩ 隊もしくは団で防災に関わる訓練プログラムを企画・計画し、隊長の承認のもとで実施すること。

防災章の取得については、指導者向けに作成した『「防災章」取得指導のためのヒント』、留意点、参考資料等を日本連盟ホームページに掲載していきますので、ぜひそれらを活用し、取得を目指すスカウトとともに指導者の皆さんも日ごろからできる「備え」について考えてみましょう。

広報活動（啓発活動）

スカウトによる救助操法

災害時などの救助活動について、消防関係者が実施している「消防操法」を参考に、「スカウトによる救助操法（一連の想定とスカウト技能を用いて行う対応）」としてまとめました。

スカウトがこの救助操法に繰り返し取り組むことによって、①救助方法の流れを知る ②関連のスキルを向上させる ③チームビルドにより班を活性化するなどの効果が期待されます。また、スカウトプログラムとして展開する一方、地域のイベント等でこの救助操法のデモンストレーション（実演）を行うことで、地域の方への防災に関する啓発やボーイスカウト



の取り組みを知ってもらおう広報活動にもつながります。

まずは、下記を参考に実践してみましょう。「スカウトによる救助操法」は、規律と礼式を重んじ、日々の訓練の中で修得した瞬時の判断と応用、結索法、救急処置等を随所で展開する内容になっています。また、救助を完了するまでの一連の行動を2分30秒以内で行えるように定型化しており、素早く正確に行動するという訓練にもつながることから、班対抗で競い合いながら訓練することも有効です。

日本連盟では、今後、県連盟や地区の技能訓練、ラリーなどの行事で展開（競技化）していくことなども視野に入れ、操法の正確性や迅速性などを採点するための採点表などの準備を検討しています。また、「救助操法」の展開方法の動画を制作するなど、取り組みの参考になる情報も提供していく予定です。

想 定	班ハイキング中に川で人が溺れているのを発見。班で協力して救助を行う。
実 演 範 囲	20m × 10m のエリアを定め、決められた位置に資材と人を配置する。
実 演 時 間	2分30秒
資 材	AED（ダミー）、毛布、竹竿（棒）、発泡スチロール、ロープ（6m）3本、パイロン等（立木の代用）
実演の流れ	<ol style="list-style-type: none"> ① 溺者発見、班長より班員に作業指示。 ② 担当ごと、同時に以下の③～⑤を進行。 ③ 救助要請、AEDを確保。 ④ 救助用ロープに連続止め結び[※]をし、一端を立木（パイロンで代用）に固定する。 ⑤ ロープの先に発泡スチロールをつけ、溺者に向けて投げ、溺者をたぐり寄せる。 ⑥ 担架を作成し、救急隊が待機する場所まで搬送する。 ⑦ ロープと担架を片付けた後に、整列して確認を行い、終了。

※ 消防関係者が実施する「消防操法」では、「節結び」という。

災害支援（対応）

ボーイスカウトにおける組織としての防災への取り組み

これまで起きた災害では、多くのスカウト関係者が支援活動に従事してきました。タスクチームでは、地域が災害に見舞われたときに想定される事態や状況について分析を行い、スカウトの組織としてどのような取り組みが行えるかを整理しました。

1. 広域大規模地震などの災害に見舞われた場合に想定される事態・状況

1-1 被災地内の状況と対応

発生している状況	取り得る対応
<ul style="list-style-type: none"> ■ 構成員への身体面・精神面の直接的被害 ■ 各組織単位での被害状況の確認不可 ■ 社会インフラ（電気・ガス・水道）の停止 ■ 生活物資（水・食料・医薬品等）の不足 ■ 居住環境、衛生環境の悪化 ■ 連絡・通信の途絶 ■ 移動・交通手段の停止 ■ 対応拠点の設置不可 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 構成員各自による自身と家族の安全確保 ■ 可能な場合の近隣での救援・救護活動 ■ 構成員の安否確認 ■ 被害状況の把握、情報収集 ■ 被災当事者と支援者の分担 ■ 必要物資・必要支援の把握、ニーズ収集 ■ 地域の生活支援、被災児童のフォロー ■ 通信および移動手段の確立 ■ 対応拠点の確保 ■ 近隣地区との共同対応、県連等からのバックアップ受け入れ

1-2 被災地外の状況と対応

発生している状況	取り得る対応
<ul style="list-style-type: none"> ■ 被災状況・規模や地域の範囲の把握不可（被災地情報の途絶・断片化） ■ 被災地のニーズ把握不可 ■ 被災地の安全状況の確認不可 ■ 被災地内への通信・連絡不可 ■ 被災地内への移動不可 	<ul style="list-style-type: none"> ■ マスメディア、SNS 等による情報の収集と判別 ■ スカウトへの状況説明、支援の心構えの指導 ■ 募金体制の即時立ち上げと実施 ■ 生活支援物資の集約・送付 ■ 供出可能資材の点検と整備 ■ 被災地支援に向けた内外組織との調整 ■ 安全を確認しての支援要員の確保・派遣

2. 災害等の事態に備えるためのボーイスカウトの組織的な取り組み

次に、ボーイスカウトとして実際にどのような取り組みをしていけばよいか、一例を記します。

1 団・地区・県連・ブロックでの取り組み

- 組織内で災害等に対する心構え（そなえよつねに）を醸成
- 各々が所属する地域や行政機関等と平時からネットワークを形成、維持

- 近隣友好団、地区、県連盟と対応や責任分担のすり合わせ、確認および明文化（安否確認などに関する緊急連絡先（個人情報）の共有化も必要に応じて検討）
- 支援を受ける／行う際の物資集積場所等の確保
- 広域対応における「ブロック」の役割を認識し、災害時等の共同体を確立（マンパワー不足の補填も意図）

2 日本連盟での取り組み

- 被災を想定し、登録情報やその他関連データを保護およびバックアップ（二重化）
- ボーイスカウト（支援を受ける側／行う側）としての被災地支援（支援ニーズの発信／収集、募金、現地派遣の責任と体制および安全確保、支援窓口等）の原則・指針を確立、周知

皆さんも、これらをもとに、団や隊の中での取り組みなどを検討してください。

スカウトによる「防災・減災」への取り組み

第21回全国スカウトフォーラム（2016年度実施）において、全国のベンチャースカウトが「防災⇒減災」をテーマに討議しました。

アクションプランは、採択した内容についてスカウトがそれぞれの地域で取り組む際の方向性を示しています。この中で、スカウトが災害に役立つ知識、技能、態度を身につけることの重要性、また、地域との交流を深めて地域参画していくことの必要性が挙げられています。

指導者の皆さんも改めて以下の採択文等を確認し、それぞれの活動に取り入れていきましょう。

採択文

減災について私たちができることから取り組み、地域社会へ貢献できる知識・技能をもったベンチャースカウトになる。

アクションプラン

- スカウト活動をしていく中で災害を日ごろから意識し、ベンチャースカウトとしての進歩に取り組むことで、災害時に素早く対応できる知識・技能を身につける。
- 減災への取り組みを個人でできることから行って、災害に備えることで心にゆとりをもち、災害時には周りの人に思いやりのある行動をしていく。
- 団や隊の中で災害を意識した上で、スカウトとして取るべき行動についての知識・技能を共有する機会を設ける。
- 防災・減災を含めた地域のさまざまなイベントに参画して地域の方々と交流を行い、災害時にもそのつながりを活用できるようにする。

約束事項

本フォーラム参加者は各自県連盟でアフターフォーラムを実施し、全国のベンチャースカウトがアクションプランに取り組むことができるように努める。

ボーイスカウトが地域とともに行う防災教育

全国防災キャラバン

2016年、東日本大震災から5年の節目を契機に、全国のイオンモール等の会場で、「全国防災キャラバン」を実施。地域の防災意識や子どもたちの「備える力」の向上を目指し、地域の子どもたちにボーイスカウトのスキルを体験してもらうなどの「防災教育」に取り組んでいます。

2019年度は、台風等の影響により中止を余儀なくされた会場もありましたが、各県連盟の協力により全国約70会場で開催し、3万人近い参加者に防災について考える機会を提供しました。

■スカウトによる防災の普及

本キャラバンの会場では、ローバースカウトやベンチャースカウトなど、次代を担うスカウトたちが活躍しています。「お兄さんお姉さんが教えてくれる楽しい防災」として記憶に残り、いざという時に思い出せる、子どもたちにも役に立つ内容になっています。

参加者の声

▶今日おぼえたことをお父さんに教えたいと思う！（富山） ▶身近に、防災に大切なことが色々あった（千葉） ▶大きい地震のときなど、前もって準備していないと大変なことになる（青森） ▶ロープだけでいのちをまもれることがわかってよかった（岩手） ▶きょうやったことをみんなにもおしえてあげたい（鹿児島）

■実施プログラム

全国防災キャラバンでは、実際の被災体験に基づくものやスタンプラリー形式での取り

組みなど、会場ごとにさまざまなプログラムが展開されています。下記に、実際に展開されているプログラムの一例をご紹介します。

震災脱出ゲーム タープを建てて、その中にロープなどを張り巡らせ、包丁や割れた食器に見立てたアルミホイルや発泡スチロールの障害物をちりばめて、それらを避けながらゴールを目指すゲーム。

新聞紙スリッパ 避難所などで役に立つスリッパを新聞紙で簡単に作るワークショップ。折り方によって子どもサイズも作成可能。

ゴミ袋ポンチョ 突然の雨などに役立つポンチョをゴミ袋で簡単に作るワークショップ。油性ペンで絵を描けばオリジナルポンチョに。

■行政等と連携した地域に根差した活動

市町村から防災マップや備蓄食料を提供してもらう、警察や消防に会場でできる防災プログラムの展開を依頼するなど、地域に根差したボーイスカウトとイオン、地域行政が連携した「防災の輪」が広がっています。

全国防災キャラバン2020



2020年度は、これらの取り組み実績により文部科学省から後援名義を得て、4月19日（日）の福島県・イオンモールいわき小名浜からスタートし、全国で展開します。

さらに、2020年度のキャラバンでは「防災」のテーマに加え、目が見えない、耳が聞こえない、身体が思うように動かないなど、特別な配慮を必要とする人たちが災害時に感じることや私たちにできるサポートなどを考えることをきっかけにして「多様性の理解」を深めることを目指します。

ぼうさいこくたい2019



「ぼうさいこくたい（防災推進国民大会）」は、2016年から始まった、内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議が主催する国内最大級の総合防災イベントです。2019年は、愛知県名古屋市中区で開催。10月19日（土）と20日（日）の2日間で、約15,000人が来場しました。

このイベントでは、開催地である愛知県のスカウトおよび指導者の協力のもと、「全国防災キャラバン」の実績紹介や防災に役立つスキルの提供など、ワークショップブースを展覧。

閉会式では、「全国防災キャラバン」などで、スカウトたち若い世代が地域とともに防災の普及に取り組んでいることが評価され、約220の展覧団体の中から特に優れた企業・団体7社のひとつとして選ばれました。

2020年度の「ぼうさいこくたい」は、10月3日（土）と4日（日）に広島県広島市で開催される予定です。日本連盟では、2020年度も展覧を計画しています。

スカウト運動の創始者ベーデン - パウエルは、このようにいっています。

「そなえよつねに」のモットーを覚えていたまえ。起こりそうに思われるいろいろな事故の対策を前もって習って、常に備えておきたまえ。事故が起こった瞬間に、正しい対策ができるように備えておきたまえ。

（中略）君たちスカウトに大事な心がけは、どこにいようと何をしようとして「ここではどんな事故が起こるだろうか」そして「もし起こったら何が自分の義務だろうか」といつも考えることだ。そうすれば、すぐ行動する備えができていくのだ。

（『スカウティング・フォア・ボーイズ』第Ⅷ章 人命救助 キャンプファイア物語23「事故に備えよ」より）

「防災」に関して、すでに各県連盟、地区、団、隊の単位で、さまざまな取り組みを実施されていることでしょう。いうまでもなく、今号で紹介した内容は、ボーイスカウトにおける「防災教育」に関する取り組みの一部でしかありません。大事なものは、いつどこで何があっても平常心で対応できるように基本を学び、身につけ、日ごろから準備をしておくことです。

スカウトの年代によって、災害に対する準備としてできることは異なりますが、今一度、スカウトのモットーである「そなえよつねに」の精神を改めて確認し、それぞれの地域、それぞれの立場でできることを考え、もしもの時への準備を怠らないよう日々努めていきましょう。

ローカルホットライン Local Hot Line

団・地区・都道府県連盟だより

- ……団
- ☒……地区
- ……都道府県連盟
- ◇……その他



兵庫 □ 西宮市青少年表彰を いただきました

西宮第13団 副団委員長 大垣 昭博

西宮市では、青少年が思いやりの心を持ち、社会の一員としての自覚や連帯感を身につけ、社会の発展に貢献する市民として成長することを願い、地域や社会のために地道な努力をしている青少年を表彰しています。

「西宮市青少年表彰」は、西宮市青少年問題協議会の建議により「西宮市青少年表彰『ふれあいの賞』」として1987年に設立され、2016年には名称が「西宮市青少年表彰」へと改正。現在までに、個人243人、団体208組（延べ数）の青少年および青少年団体が表彰されています。

2019年度は、12月21日（土）に市役所の大ホールで表彰式が開催され、西宮第13団も表彰されました。当団は、今回で2回目の表彰となりました。



東京 □ 創立50周年を迎えました

多摩第1団 団委員長 深見 眞一

多摩第1団は1969年に発団し、創立50周年を迎えました。50周年を迎えた2019年度は、年間を通じて記念行事を実施。昨年8月に山梨県忍野村で団キャンポリー、今年1月には記念式典を開催し、現在、記念誌を作成しています。

記念式典は、阿部多摩市長、藤原多摩市議会議長、奥島東京連盟連盟長をはじめ、日ごろお世話になっている地域の方々やボーイスカウト関係など多くの来賓をお迎えし、総勢約150人の会になりました。式典第1部では、発団から現在までを振り返り、阿部市長、

藤原議長、奥島連盟長にご祝辞を頂戴しました。第2部では各隊スカウトによる活動発表を行い、佐藤東京連盟副コミッショナーのご発声で、皆さまから弥栄を贈っていただきました。

多摩市が「市」になる以前に活動を始め、この50年の節目を迎えられたのは、多くの皆さまの支えがあってこそと、団関係者一同改めて感謝申し上げます。

今後もスカウトと指導者が社会の一員として貢献できるよう、努力を怠らず、より一層活動に励んでまいりたいと思います。

青森 ■ 日米スカウト交歓交流60周年を迎えて

青森県連盟 顧問 佐藤 正



2019年11月16日（土）、60周年を迎えたインターナショナル・スカウト・デーを米軍三沢基地で行いました。

1959年4月に行われた^{ひろさき}弘前公園桜まつりで、私たちスカウトが交通整理や案内をしていると、「公園を案内してほしい」というアメリカの少年に出会いました。少年は米軍三沢基地在住の16歳のスカウトで、公園を案内した別れ際に連絡先を交換しました。

10日後、彼から手紙が届き「案内のお礼に」と基地に招かれ、その後も手紙を交換し

たり互いの家にホームステイしたりと交流が始まりました。その年の夏には三沢基地内で2泊3日の交歓交流を行い、個人の出会いがいつか隊同士の交流へと繋がりました。

以来60年にわたり私は彼と連絡を続け、60年前に始まったスカウトの交歓交流も継続しています。今ではガールスカウトや県外からもスカウトが集い、基地関係者と多彩なプログラムで盛り上がるイベントになりました。これからも末永く交歓交流が続くことを願っています。

福岡 福岡市科学館「マンモス展」館外プログラムでの「火起こし体験」

福岡地区委員長 井手 直秀

福岡市科学館の特別展示「マンモス展」の館外関連企画、「古代人がどのようにして火を起し、安全に維持していたか」をテーマにしたプログラム運営に協力しました。

参加した親子や中高生に、落雷での発火、弓ぎり式、火打ち石、レンズ等による着火方法や消火方法、火を安全に扱うためにはどうしたら良いのか等を説明し、実際に「糸切り競争」(牛乳パック輪切り5片、割り箸5膳分を

使ってマッチで着火。15cm 上部に張った糸を焼き切るゲーム)で火起こしを体験してもらいました。

1回目は小学生の親子19組38人、2回目は小学生の親子と中高生グループ19組63人が挑戦し、時間内に糸が切れたのは12～13組程度でしたが、炎を燃え上がらせるために色々な工夫をして、楽しみながら体験してもらうことができました。



キャンプ場紹介

- 含営ができる
- 携帯電話が使える
- 食事施設がある
- 駐車場あり
- 川遊びができる
- 男女別のトイレがある
- 営火ができる
- その他

神奈川県相模原市藤野町佐野川1822

都心から70分のリフレッシュゾーン **桐花園**
<http://www.tokaen.jp>



この号持参でキャンプファイアをサービス!!

相模湖に近く、陣馬山、生藤山の麓に位置する緑に囲まれたキャンプ場です。
 カブパック 小人¥5,800(1泊3食・税込)・寝具お持ち込みの場合¥5,500(税込) / 大人¥6,500(1泊3食・税込)・寝具お持ち込みの場合¥6,200(税込)。
 *パンガロー・寝具(シート付)・入浴・食事付
 *3食の中で一部自炊やカブ弁当も料金内で可能です。



T 0426-87-2239
 F 0426-87-3159
 M info@tokaen.jp

■収容人数/パンガロー・キャビン250人[35棟]、民宿・合宿所100人、テント[10張] ■営業期間/通年 ■アクセス/中央自動車道相模湖ICより4km、JR中央線藤野駅より送迎あり



群馬県高崎市下室田町4642-5

パン作り体験が出来るキャンプ場 **サンコーハルナパーク**
<http://www.harunapark.com>



パン作り体験が出来るキャンプ場 & ワイルド

榛名山南山麓の標高650mに位置し、場内の沢ではサワガニ捕りやヤマメ釣りなど自然のアクティビティも楽しめます。薪窯で焼き上げるパン作り体験も人気。周辺には榛名山外輪山のトレッキングなど多数の観光スポットやスーパーがあり、世界遺産の富岡製糸場や軽井沢などへのアクセスも良く便利。



T 027-374-5151
 F 027-374-0370
 M hp@harunapark.com

■収容人数/パンガロー、コテージ28人、テントサイト120人 ■営業期間/3月下旬～11月末 ■アクセス/関越自動車道高崎IC、前橋ICより国道406号、上里見交差点を右折し約10分(7km)



福島県耶麻郡裏磐梯五色沼入口1074-511

磐梯山一望 6,000坪 **みちのく野営場**
<http://www.r-michinoku.com>



6,000坪の野営場は自然豊かな高原リゾート



磐梯山一望



リゾートインみちのく60名収容



T 0241-32-2109
 F 0241-32-3000
 M rim@agate.plala.or.jp

五色沼へ徒歩7分 リゾートインみちのく60名収容 各種イベントご相談ください

- ・標高800mの裏磐梯は山と湖の国
- ・多彩なプログラム作成が魅力
- ・80帖の多目的ホール完備(雨対策)
- ・みちのくマイクロバス(29人乗)所有
- ・コース間の送迎もスムーズに!!
- ・キャンプファイヤー場有り
- ・磐梯山一望の露天風呂(檜・岩)有り
- ・野営・含営の合同キャンプも可能
- ・食材の注文もOK
- ・ぜひ、下見にお越しください

■収容人数/野営場6,000坪 ■営業期間/通年 ■アクセス/磐越自動車道猪苗代・磐梯高原ICよりクルマで20分。JR猪苗代駅より東都バスで五色沼入口下車、徒歩7分



日本連盟情報 Mar. 2020

2月中旬までの会議・研修など

12月

- 18日(水) ● スカウト用品経営会議(第4回)
- 21日(土) ● プログラム委員会(第4回)
- BS/VS部門検討タスクチーム会議(第3回)
- コミッショナー任務別研修検討タスクチーム会議(第4回)
- 22日(日) ● 第18回日本スカウトジャンボリー企画委員会(第4回)
- 26日(木) ● 社会連携・広報委員会定例打ち合わせ会(年度定例第16回・通算第66回)
- 29日(日)～1月12日(日)
- 第13回アジア太平洋地域(第21回オーストラリア)ローバームート派遣

1月

- 4日(土) ● 13NA一般参加サービスセンター専門部会(主要スタッフ会議)
- 7日(火) ● 運営会議(第9回)
- 11日(土) ● 社会連携・広報フォーラム(滋賀)
- 社会連携・広報フォーラム(山口)
- 社会連携・広報フォーラム(香川)
- 11日(土)～13日(月)
- 高萩スカウトフィールド活用タスクチーム会議(第4回)

- 11日(土)～19日(日)
- 日韓スカウト交歓計画
- 14日(火) ● 臨時理事会
- スカウトと社会をつなぐ場所(第16回)
- 16日(木) ● 社会連携・広報委員会定例打ち合わせ会(年度定例第17回・通算67回)
- 18日(土) ● 全国防災キャラバン2019(山形)
- 18日(土)～19日(日)
- 全国県連盟コミッショナー会議(第3回)
- 19日(日) ● 社会連携・広報フォーラム(愛知)
- 全国防災キャラバン2019(秋田)
- 全国防災キャラバン2019(石川)
- 25日(土) ● 2020年度ウッドバッジ実修所・団委員長実修所 所長・主任所員会議
- 社会連携・広報フォーラム(新潟)
- 県連盟代表者会議(第2回)
- 2020年新年賀詞交歓会
- 26日(日) ● 国際委員会(第4回)
- 「セーフ・フロム・ホーム」・安全委員会(第4回)
- 第13回日本アグーナリーユニファイドサービスセンター専門部会(第2回)

2月

- 1日(土) ● 安全促進フォーラム(鳥取)
- 1日(土)～2日(日)
- 社会連携・広報フォーラム(長野)
- 2日(日) ● 共済運営特別委員会(第4回)

- 全国防災キャラバン2019(福岡)
- 4日(火) ● 運営会議(第10回)
- 5日(水) ● 信仰奨励委員会(第4回)
- 6日(木) ● 社会連携・広報委員会定例打ち合わせ会(年度定例第18回・通算68回)
- 8日(土) ● プログラム委員会(第5回)
- スカウトソング特別委員会(第4回)
- 8日(土)～9日(日)
- 社会連携・広報フォーラム(和歌山)
- 8日(土)～23日(日)
- 2019年度日本連盟トレーナー研究集会(全国11会場)
- 9日(日) ● 第18回日本スカウトジャンボリー企画委員会(第5回)
- BS/VS部門実証タスクチーム会議(第3回)
- 14日(金) ● 財務委員会(第4回)
- 100周年記念史編纂委員会(第19回)
- 15日(土) ● 社会連携・広報フォーラム(岩手)
- 社会連携・広報フォーラム(埼玉)
- 次世代につながるスカウト運動セミナー(香川)
- 全国防災キャラバン2019(京都)
- 16日(日) ● スカウト教育推進会議(第4回)
- 全国防災キャラバン2019(岐阜)

維持会員 (敬称略)

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方々です。

ご支援ありがとうございます 2019年 11～12月度

- 【北海道】 井上 久雄 石橋 隆秀 齊藤 満 森重 一夫 鍋谷 正俊 喜多 英司 金森 正晴 松本 淳一 三国 久介 新 和男 【東京】 長岡 正彦 松平 義継 今津 直記 高野 ひとみ 島村 圭一 橋本 典子 吉岡 優二 金子 秀一 東 政和 BS苫小牧2 一之瀬 真弥 吉村 利信 BS札幌地区委員会 黒澤 岳博 渡邊 明彦 BS北海道連盟 B S 宮代 1 中島 静香 理事会一同 B S 楠川 2 明夫 幸市 【千葉県】 菊地 康介 田中 光弘 沼宮内 拓哉 宋 千鶴子 大坊 章 佐藤 計廣 日東自動車工業(株) 鶴澤 弘明 花淵 昭英 (株) 岩手銀行 脇 直哉 安海 将広 【宮城】 和田 剛和 堀田 清乃 佐藤 成晃 【秋田】 木村 那樹 (株) A I S 青木 浩伸 吉田 樹司 中山 勝利 乳井 豊彦 須藤 隆生 岸 幸博 【福島】 佐々木 道昇 須藤 守之 大野 昌宏 【茨城】 佐藤 一郎 足利 靖之 吉永 輝 瀬戸 清規 井澤 敬雄 大島 正 西嶋 由貴子 菅原 信浩 八城 健彰 丸井 茂 白石 陽一 足立 和彰 八城 貞子 前川 裕一 【栃木】 齊藤 幸男 前川 裕一 櫻井 政義 清水 裕 【群馬】 小暮 雅丈 椎野 芳行 小吉田 稔 土田 謙一 原 義裕 B S 川崎 4 3 清水 賢次 B S 伊勢原 1 関 幸子 B S 横浜 7 9 有賀 長規 B S 鎌倉 5 4 (株) グンケイ B S 練馬地区 (株) 群馬ハム B S 横浜 3 4 ソーイン・ジャック スカウトクラブ 【埼玉】 浅倉 祥弘 【新潟】 小出 義昌 黒田 玲

- 金澤 理久夫 田村 照児 尾崎 千尋 北村 良誠 山 成 治 丸山 光雄 芝田 内 正治 田中 伸二 清水 修 堀内 正浩 鈴鹿 機修 筒井 まゆみ 中野 充 丸山 浩孝 伊藤 工務店 渡辺 進 宮崎 賞人 近畿電設工業(株) 国際ロータリー 第2560地区 鈴木 典江 伴 忠信 【富山】 橋本 峰子 BS静岡10育成会 B S 磐田地区 【石川】 濱山 茂樹 藤川 卓朗 木戸浦 信隆 坂井 忠夫 山本 敏成 伊藤 忠弘 大和 謙市 肥田 庄治 米田 峰夫 渡辺 勝彦 手井 博史 櫻井 茂生 田中 廣昌 山盛 肇 【長野】 花岡 正一 正一 正人 竹之内 藤一 丸山下 昭男 水谷 昌至 青木 秀樹 谷澤 季也 青木 桂子 中島 志郎 BS松本6育成会 森 彰康 鈴木 新一 大野 俊雄 中村 友一 水谷 憲昭 水谷 章 古家 恭子 渡辺 義昌 改田 哲 武井 拓連 名鉄観光サービス(株) 岐阜支店 【静岡】 山城 厚生 水口 正宏 木村 清治 大川 靖夫 大川 進 川村 尚 青木 尚 脇坂 茂 栗田 裕之 勝又 啓子 【三重】 前田 隆司 下間 賢了 柴田 賢彦 中谷 真啓

- 【大阪】 喜多 文夫 竹中 喜久美 丸谷 靖彦 【香川】 嶋田 綾田 鈴木 枝 椿本 広之 大西 栄生 赤塚 篤志 松平 頼昌 高見 篤志 光榮 中村 光 小川 時弘 伊東 松正 【鳥取】 利行 中尾 喬一 寛 倉成 佳代子 【島根】 河角 隆治 伊藤 紀久美 岩田 春子 正木 伸一 生田 和嘉子 阿部 智起 【岡山】 富治 大久保 杉本 興一 郡島 三曉 西山 勝正 竹下 もりと B S 北九州 5 1 B S 北九州 1 4 B S 北九州 4 5 B S 古賀 1 B S 宗像 2 BS筑紫2育成会 BS那珂川1育成会 【佐賀】 横田 光則 熊谷 勝 原口 誠 石井 二三夫 協澤 義裕 BS佐賀県連盟 中国電力(株) 役員有志 【山口】 福村 佳代子 竹本 博信 【長崎】 長田 信一 小鳥居 表孝 【熊本】 吉田 日出輝 【大分】 永田 秀忠 【宮崎】 池本 要謙 齋藤 【鹿児島】 昭和興産(株) 【沖縄】 古屋 政美 剛 城間 【日本】 松原 俊文 笠原 功 武井 重利 小町 國市人 行武 秀樹 鈴木 節子 茂木 達郎 大浦 秀樹 額谷 征幸 尾上 修平 渡邊 富昭 戸高 有基 米沢電気グループ (株)博進企画印刷 (株)インターナショナル ビルメンテナンス T S P 太陽(株) ジェイ・ブラッカ

マンスリーサポート維持会員

毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落としによる維持会費のお支払いが可能です。

<https://www.scout.or.jp/support/04/>

11～12月に入会または1年継続された方々です。

- 【福島】 関口 栄幸 早川 権慈 【滋賀】 佐藤 博則 【大分】 木村 公一 【岩山】 東海 直樹 【兵庫】 田中 良幸 【日本】 宇野 舞香 竹山 勝 【福岡】 赤星 雄之

災害時において 生き抜くことの知恵

私たちは日ごろから活動をとおり、野営や焚き火を実践している。

そして、その焚き火を中心に暖をとって、その火を使って調理して、食事や温かい飲み物で体を温める。また、ナイフや斧・鉈なたを使い、麻ひもやロープを使いこなし、野営に必要な立ちコマドやタープを使った小屋掛けなど多くの道具を作り上げ、野で生き抜くための訓練をしている。

災害に見舞われ、ガス・電気・水道などのライフラインが断たれたとき、野営で培ったその火起こしと道具を作る技術はとてども大切に、災害時に生き抜くために必要不可欠な「尊い経験と知恵」となるのである。

もちろん、その経験は自分自身のためでもあるが、家族、友人たち、隣近所の人々にとっても大切な知恵となる。

プールで泳ぎ方を覚え、川の流れの中で泳ぐことを学び、海で波立つ潮の流れを経験し、その変化と厳しさを学習する。その学びは自分自身のためでもあるが、大切なのは他人の救助へとつながることにある。

近くにいた子どもが滑って川に落ちたとしよう。もしキミが泳げなければ、飛び込むことは決してできないだろう。でも、川の流れの中で泳ぐことを経験したことがあるキミなら、迷わずすぐさま飛び込み、その溺れかけた子どもを助けることができるのだ。

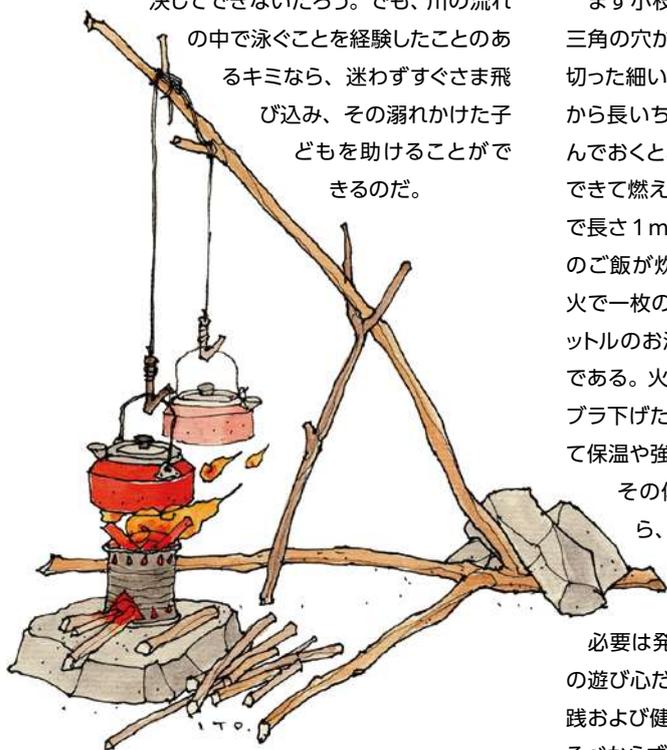
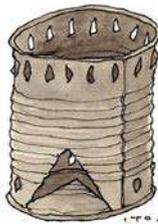


イラスト & 文：伊東孝志

いとうたかし／南国・無人島へのシーカヤック放浪旅をこよなく愛する、奄美大島生まれの小学58年生。ヤドカリを人生の師と仰ぎ、筆先に北斎を見つめ、水彩の楽描（らくがき）を糧として、奄美・沖縄～東京を拠点にアウトドアライフな、古今東西南北の日々を漂流する。

●伊東孝志ブログ「道草楽描／みちくらくがき」～ <http://michikusa-rakugaki.blogspot.com/>

つまり、スキーの滑り方の習得本を100冊読むよりも、50回ゲレンデで転んだ方が上達が速いように、多くの書物を読んで文字としての知識を蓄えるのではなく、日



ごろの行動や遊びを通じた体験やその経験から学んだことこそが、次なる行動を呼び起こす「知恵=実践的知識」として身につくのである。

大きな地震や台風、河川の氾濫や大雪でライフラインが断たれたとき、これまで野遊びや野営活動で培ってきた経験と知恵をフルに活用し、その難局をみんなで生き抜くのだ。

以前、シーカヤックの旅の途中、無人島でガスバーナーの燃料が切れてしまい、ナイフと缶切りの2個でパイナップルの空き缶を使ってカンカンバーナーを制作し、その場をしのいだときのことを話そう。

ナイフはビクトリノックスのアーミーナイフ。それには小さなノコギリやハサミまでついており、ナイフの刃も大小2本も備えられていた。その小さなナイフで缶の下の部分に刃を差し込み、滑らせながら2辺を押し切り、三角の穴を開ける。底の部分がついたまま三角部分の中に押し込む。そして缶切りについていた刃で、缶の上下に空気口となる穴をペコペコと等間隔で開けていく。制作時間たった5分でカンカンバーナーのできあがりだ！

まず小枝をポキポキ折って缶いっぱいにし、三角の穴から着火して熾火おきを作る。あとは短く切った細い枝を上から縦に入れたり、三角の穴から長いちよっと太い小枝を2本ばかり突っ込んでおくと、それが元火となって次々と熾火ができて燃え続けるのだ。なんと親指ほどの太さで長さ1mの枝2、3本があれば、一人分一合のご飯が炊け、2杯分のみそ汁が作れて、熾火で一枚のサケが焼き上がり、残った火で1リットルのお湯を沸かして温かいお茶が飲めるのである。火力は、小枝に架けたロープを調整し、ブラ下げたケトルや鍋と火床からの距離を変えて保温や強火など工夫をするのだ。

その体験以来、私のシーカヤックの旅から、ガスやガソリン系のバーナーの類いが姿を消し、大きめのフルーツ缶ひとつが旅のともとなったのだ。

必要は発見発明の母、要は創意工夫と少年の遊び心だよ。「経験と知恵」、これが大切。実践および健闘を祈る。～そなえよつねに～忘れず！

信仰奨励

自然はすばらしい

信仰奨励委員会 飯盛 安信

スカウトたちとキャンプに行って、海山の景色、動物や植物、夜空などを見たり、触れたり感じたりしたとき、スカウトから「美しい、いい匂い、不思議、清々しい、気持ちいい」など、いろいろな感想があがってくることでしょ。そこで、あなたが「自然はすばらしい」とまとめたとして、「どうして自然はすばらしいの？」とスカウトから聞かれたら、どのように答えるでしょうか？

B-Pはこうっています。

「キャンプはスカウト生活の中でも楽しいものだ。神の造られた大自然の中で丘や木や鳥や獣や、海や川に囲まれて生活すること——つまり、自分の小さなキャンパスの家で、自分で炊事をし探検をして自然にとけこんで生活する——それは町のれんがと、ばい煙の中ではどういられない健康と幸福をもたらしてくれる」（『スカウティング・フォア・ボーイズ』第1章 スカウト技能 キャンプファイア物語2「スカウトがすること」より）

スカウトの問いに、「神様が造ってくださったからすばらしいのだね」と答えられたらいいですね。そして、それぞれの教宗派について話を広げられたら、よりすばらしいと思います。

例えば、日本では太古から自然と人は一体であり、自然を愛し、自然と人間とが共に生きてゆく、という思想で歩んできました。あるいはキリスト教の『聖書』には、「神が、光と闇、天と地、水と大空、海と大地、草や木、海や空の生き物、地上の生き物と人間を造り、7日目にすべてを祝して休んだ」という天地創造のお話があります。神が宿る自然、共に生きる自然、神から与えられた自然、どの教宗派においても自然はとてども大切なものです。ですから、私たちが自然を大切にすることは、「神へのつとめ」の一つであると思います。

気候変動や異常気象による高潮や台風、熱波や寒波などの災害、農業や漁業などに起こる問題や、熱中症や感染症など、健康への影響も大きくなっています。自然保護や環境問題に取り組むこと、そして自分たちの生活を見直すことも、信仰奨励活動の一つになるのではないのでしょうか。

スカウティングと観察・推理 ⑤

いつでもどこでも周りの人を観察し、 観察と推理の体験が目指すもの、 導いてくれるものを知ろう。

スカウトスキルの本誌連載、本年度は①「観察と推理」の原則 ②夏キャンプでの自然観察 ③ハイキングでのナビゲーション（地形の観察）④さまざまな人が暮らす街の観察をテーマにお送りしてきました。今号では「人の観察」と「観察・推理の目的」について、スカウト運動の創始者ベーデン・パウエル（以下B-P）の言葉と巧みなイラストを中心にをご紹介します。

いつでもどこでも正確に観察しよう。

B-Pは著書『スカウティング・フォア・ボーイズ』（以下SfB）で「人の特徴」と題して、以下のように述べています。

列車やバスで旅行している時は、いつも乗客の細かい点まで注意して見たまえ。顔、服装、話し方などを、あとで一つひとつ正確に描写できるくらいによく見ておく。そして服装や態度から、その人の職業を考えたり、その人が幸福であるか、病気か、助けを必要としているかどうかとも推測したまえ。

キャンプやハイクで鍛えた自然観察の力は、人の観察にも役立ちます。以下のようなところに着眼してみましよう。

■人の観察、注目点

- 年代、性別
- 人相：^{まゆげ}眉毛、目鼻立ち、あご、髪型、ひげ、メイク、目つき、表情など
- 肌の色、髪の色、瞳の色
- 話し方：言語（外国の言葉か）、口調（声の大きさ、言葉遣い、なまり、笑い方など）
- 体格：姿勢、背丈、体つき（肉づき、太り具合）
- 動作：手振り・身振り、立ち方、歩き方、座り方、動作の緩慢、身体に不自由なところがあるか
- 身なり：衣服、帽子、メガネ、マスク、イヤホン、腕時計、装身具、マフラー、ソックス、手袋、靴など（わかれば製品名やブランド）



- 服や靴などに目立った汚れがあれば注目
- 持ち物：レジ袋、ショッピングバッグ、キャリアー、リュック、ショルダーバッグ、ハンドバッグ、アタッシュケース、ポーチ、かさ、デジカメ、スマホなど（制服、作業服などの衣服や仕事用の持ち物からは、その人の職業、職務がすぐわかることが多い）

■観察するとき、注意すること

- 人の観察はさりげなく、相手を不快に思わせない範囲で。写真は撮らない。
- もし、氏名などの個人情報が出てしまった場合は、他言しない。
- 観察した特徴は、頭の中で言葉にすると印象がはっきり残るでしょう。
- いっしょにいた人、観察した場所と時刻も記憶しておくとういでしょう。
- もちろん、たまたま見かけた人、初対面の人だけでなく、なじみのスカウト、指導者、家族、近所の人々などに会ったときも何か変わったところがないかなどに気をつけて見てみましょう。

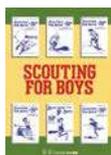
■観察を楽しみましょう

- すてきなファッション、スマートなしぐさ、和やかな家族、かわいい子どもを観察することも少なくありません。ぜひ心にとめて、できるなら真似をしてみましよう。
- 旅行などのときは、スケッチブックなどに描いておくとうい思い出になるでしょう。もし、参考のため写真を撮るのなら、必ず相手の了解を取ること。



君は帽子のかぶり方でこの人たちの性格をあてられるか。

帽子のかぶり方でその人の性格がわかるといわれている。少し横に曲げてかぶるのは善良な人であり、大きく一方に曲げてかぶる人は威張り屋、あみだにかぶるのは借金の払いの悪い人、真っすぐ頭の上のせているのは多分正直だがおもしろ味のない人だ。（ベーデン・パウエル『スカウティング・フォア・ボーイズ』より。イラストは1908年の初版本のもの）



ベーデン・パウエル『スカウティング・フォア・ボーイズ』

スカウト教育の目的と方法を知る基本図書。1908年刊。以後、B-Pの手によって何度か改訂された。かなりの時を経てはいるが、現代のスカウト教育の基盤を示すことに変わりはない。全指導者必読の一冊。英文原著は、さまざまなサイトでPDF版がアップされている。

現行の日本連盟訳本（1980年刊）は、イギリス連盟が1963年に発行した「決定版」が底本。元来は大人向けに発行された著書であるが、この版はスカウトも読める内容と文章になっている。指導者向けに、訳者による詳細な解説もついている。

スカウトショップで発売中。税込価格1,540円。



さて、ここでチャレンジです。

“The Boy Scout in Action”という題のイラストが3点あります。背景の岩稜の違いはすぐにわかりますが、スカウトを観察して、違いを見つけてみましょう。



B-Pのサインが入ったイラスト（制作年不詳）。



1908年の1月から4月にSfBが6分冊で発行されたとき、第3分冊の表紙に使われたイラスト。



1908年5月にSfBが合本となり、1冊で発行されたとき、巻頭に収録されたイラスト。

■そして、とても大事なこと

- たまたま外見を観察しただけでは、その人の性格（人格）を十分には推定できません。話したり、一緒に活動を楽しむ「交流」が必要です（スカウトならジャンボリーやラリーでそのような機会を得られることでしょう）。帽子のかぶり方に関するB-Pのコメントも想像にすぎません。
- 特に、自分たちとは違う肌の色や言語、信仰や民族による独自の服装などを見ただけで、その人の性格を決めつけたり、行動を予測したりすることは慎みましょう（本号最後のB-Pのコメントを参照のこと）。
- スカウトがまずすべきは、「落ちついてよく見ること」。そして、身体が不自由だったり、急病や怪我の人、道に迷ったり、荷物が重くて困っている人を見たら、助けること。手に負えない緊急事態のときは、しかるべき人にすみやかに知らせることでしょう。その時、正確な目撃情報が役に立ちます。



B-P お勧め「観察と推理」の練習

（『スカウティング・フォア・ボーイズ』より）

① 個人で練習

列車やバスの中で、ほかの人たちの足より上を見ないで、その人がどんな人か、老人か若者か、金持ちか貧しい人か、太っているか、やせているかなどを推測して、それから上を見て、どのぐらい当たったかを見るのもおもしろい練習だ。

人気飲食店の前や神社での行列も見てみましょう。くれぐれも、相手に不快感を与えないように。

② 班で練習

隊集会で、予告なしに、たとえば一人の男がかけ込んで来て、隊長をなぐり倒して逃走するというような「事件」を仕組む。各班に、起こった事からや男の特徴などの報告を書かせる。

「事件」はできるだけ笑えるものにしましょう。「逃走者」を追跡するゲームを設定してもおもしろそうですね。

③ 名探偵から学ぶ

B-Pの2歳ほど年下の作家、コナン・ドイル(1859～1930)が生んだ、ご存じ名探偵シャーロック・ホームズ。初対面や、通りすがりの人の外見を鋭く観察し、その人の悩みや職業、生活、人柄までも推理してみせます。B-Pも「ファン」だったようで、SfBの中で何度かその「実例」を上げています。下記は、そのうちのひとつ。

シャーロック・ホームズがある時、初対面の人に会って、その人がかなり裕福そうな様子で新調の服を着て腕に喪章をつけ、軍人らしい態度で船乗り特有の歩き方をし、日焼けしていて、手にいれずみをしているのを観察した。君ならこの人は何だと思う。

答えは日本連盟訳本186ページに（ただし、原著(1894年刊。訳本は『シャーロック・ホームズの回想』）に収録された短編「ギリシャ語通訳」に当たってみると、B-Pの記述と少し差異があります）。

小説とはいえ、ホームズの推理法は大変参考になります。左記の《とても大事なこと》を忘れずに、学んでみましょう。本シリーズの翻訳本は数多く出ています。

人の観察は屋内、屋外、街でも野山でもどこでもできます。指導者として以上のような点に留意して、スカウトたちの観察と推理の力を高めましょう。

本連載は、今回で終了します。ご愛読ありがとうございました。



「観察と推理」訓練の目的

B-Pはイギリス連盟刊『ザ・スカウター誌 1939年3月号』に、以下のような寄稿をしています（於保信義訳・日本連盟刊『B-Pの展望』より）。



スカウト訓練においてわれわれは前途により高い目的を掲げるようにして、手段にあまり心を奪われないようにしよう。

精神面より技術面にウエイトをかけ過ぎないようにすることである。野外での能力、森林生活者の技術、キャンプ、ハイキング、善行、ジャンボリーの仲間意識は全て手段であって、最終目的ではない。

最終目的は**性格**^{〔注〕}である。すなわち、目的を持った性格である。

そして、この目的は若い人たちが狂気の世界にあっても、正気であり、奉仕に対するより高い認識、すなわち、愛と神へのつとめ、隣人に対する積極的な奉仕を発展させていくことである。

〔本誌編集部注〕原文はcharacter。訳者はこの言葉は「人格、品性、性格とも訳されるが正確ではなく、適当な訳語がない」と記しています。人物、人間性という言葉にも相当するかもしれませんが。

これは、B-Pが晩年(1941年)近くにたどり着いた、スカウトスキル全般に対する総括ともいえるでしょう。本連載の初回(2019年5月号)で、「観察と推理の力は、野外での冒険的プログラムを楽しくかつ安全に実行するためのパスポートである」とご説明しました。そのパスポートを手にしたスカウトは、野外活動にとどまらず、信仰心を深め、周りの人々と力を合わせ、平和な社会の役に立つ人間へと育っていくことでしょう。

令和元年台風第19号への支援状況報告

2019年10月、令和元年台風第19号によって各地に甚大な被害がもたらされました。前号に引き続き、全国の皆さんの募金活動による支援状況について報告いたします。

※日本赤十字社等への直送分を含み、日本連盟に活動報告をいただいている団体(2020年1月31日報告受付分まで)を掲載しています。

※隊名や個人名等の報告でも、団名の記載があった場合には、団名で紹介していますのでご了承ください(敬称略、順不同)。

■ 日本赤十字社等を通じて被災者に直接送られる義援金

総額 **¥5,350,084**

【岩手】盛岡12【宮城】仙台12、仙台35【福島】会津美里1、福島4【茨城】つくば3【群馬】前橋1、前橋3、前橋7、大胡1【千葉】木更津3、市川2、船橋5、大網白里1【神奈川】横浜116、大井1、横浜100【富山】小矢部3、【福井】丹生3、武生1、武生5、坂井5、福井2、福井21、福井連盟役員一同【岐阜】美濃加茂1、可児1【静岡】藤枝2、三島5、菊川1【愛知】名古屋13【滋賀】草津14、草津17、栗東8、蒲生2、大津21【京都】京都9【兵庫】西宮10、西宮11、西宮22、神戸8、神戸54、神戸70、加古川1、加古川5、

伊丹3、姫路16、姫路18、尼崎1、尼崎7【奈良】生駒10、橿原1【和歌山】和歌山21、和歌山2、海南1、和歌山14、海草1、橋本2【大阪】八尾1、八尾7、大阪85、交野2、門真1、高槻4【鳥取】鳥取2【広島】広島13【山口】下松5【愛媛】新居浜2、松山7、四国中央2【福岡】福岡37【佐賀】佐賀県連盟理事会一同【日本】RCJ北海道・東北ブロック有志一同

【広島】広島30、尾道1、広島13、呉12、安佐3、安佐地区、広島県連盟スカウトクラブ、広島県連盟【熊本】熊本18

■ ボーイスカウトによる支援活動をサポートするための災害活動支援金

総額 **¥132,165**

【東京】立川3、立川4、立川6、立川10、国立1、国立2、多摩1、日野2、昭島1、稲城1【大阪】堺25【岡山】都窪2

令和元年台風第19号への募金総額

¥6,654,682

■ スカウト関係者からスカウト関係者に対する見舞金

総額 **¥1,172,433**

【京都】京都9指導者有志【兵庫】日高1【大阪】高槻4、堺9スカウトクラブ一同【岡山】都窪2

募金等、活動報告のお願い

各地から届いた募金をとりまとめて日本赤十字社(募金受付3月31日まで)に送金します。引き続き、募金等支援にご協力いただき、日本連盟へは3月20日までに送金ください。

日本連盟に届いた活動報告により、募金額と使途の確認がとれた募金につ

いて掲載していますので、募金活動を実施した際は、日本赤十字社等へ直接送金された場合も含め、活動報告の提出をお願いします。

また、日本連盟ホームページで募金活動に関するアンケートを実施しています。あわせてご協力ください。

2020
No.737
5

SCOUTING

次号予告 次号の『スカウティング』は、2020年5月1日発行

特集

2020(令和2)年度事業方針

新年度も始まり、気持ちを新たに活動に励む5月。次号は、日本連盟創立100周年を見据えた2020年度の取り組みをご紹介します。

なんでも応募先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局『スカウティング』投稿係
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3
電話 03-6913-6262 (代表) FAX 03-6913-6263 Eメール scouting@scout.or.jp

投稿規定 / 本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は、文字数400字で写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があり、また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんの方の投稿をお待ちしております。

日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp>

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
『スカウティング』2020年3月号 No.736 令和2年3月1日発行(奇数月1日発行)
発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 <https://www.scout.or.jp>
『スカウティング』は、全国のボーイスカウト指導者(隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員)に1冊お送りしています。住所の誤り、変更がある場合は回での登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月～8月に新規、追加登録申請が承認された場合:5月号から当該月号を同封にて送付(例:8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封) ②9月～翌年3月に登録申請が承認された場合:11月号から当該月号を同封にて送付。9月以降の「追加登録」で、5月号～9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合は有償でお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に合わせたため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくはボーイスカウト日本連盟ホームページ<https://www.scout.or.jp>から、スカウティング誌のページをご覧ください。
©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2020 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部(代表 TEL:03-6913-6262)までご連絡ください。

SCOUTING

デジタル配信しています!



機関誌『スカウティング』のデジタル版(PDF)を、読者の皆さんを対象に配信しています。

デジタル版は、文字もそのままコピーできますので、さまざまな資料に、より簡単に引用できるほか、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。

ぜひご利用ください。



ID: scouting-magazine

PASS: sonaeyotuneni

URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>

＼入隊、上進、そして新しい出発に／

フィールドマスター 名入れ無料キャンペーン



ご好評につき、今年も開催！

フィールドマスターは、野外での活動に欠かせないブレード、せん抜き、はさみ、のこぎりなど、15機能を備えたマルチツールです。昨年行った名入れキャンペーンでは、多くの皆さまにご好評いただき、今年も名入れ無料キャンペーンを行うことになりました。入隊や上進、新たな門出を迎えたスカウトたちにおすすめの一品です。ぜひスカウトショップまでお申し込みください。

キャンペーン期間：2020年4月30日まで

品番：97330 価格：¥5,104 - (税込) サイズ：91mm

主な機能：ラージブレード、スモールブレード、カン切り、せん抜き、ワイヤーストリッパー、マイナスドライバー、リーマー、千枚通し、プラスドライバー、はさみ、のこぎり、マルチフック、つまようじ、ピンセット、キーリング

各種詳細・お申し込み方法などは、各販売協力店、または下記 QR コード等からホームページをご覧ください。



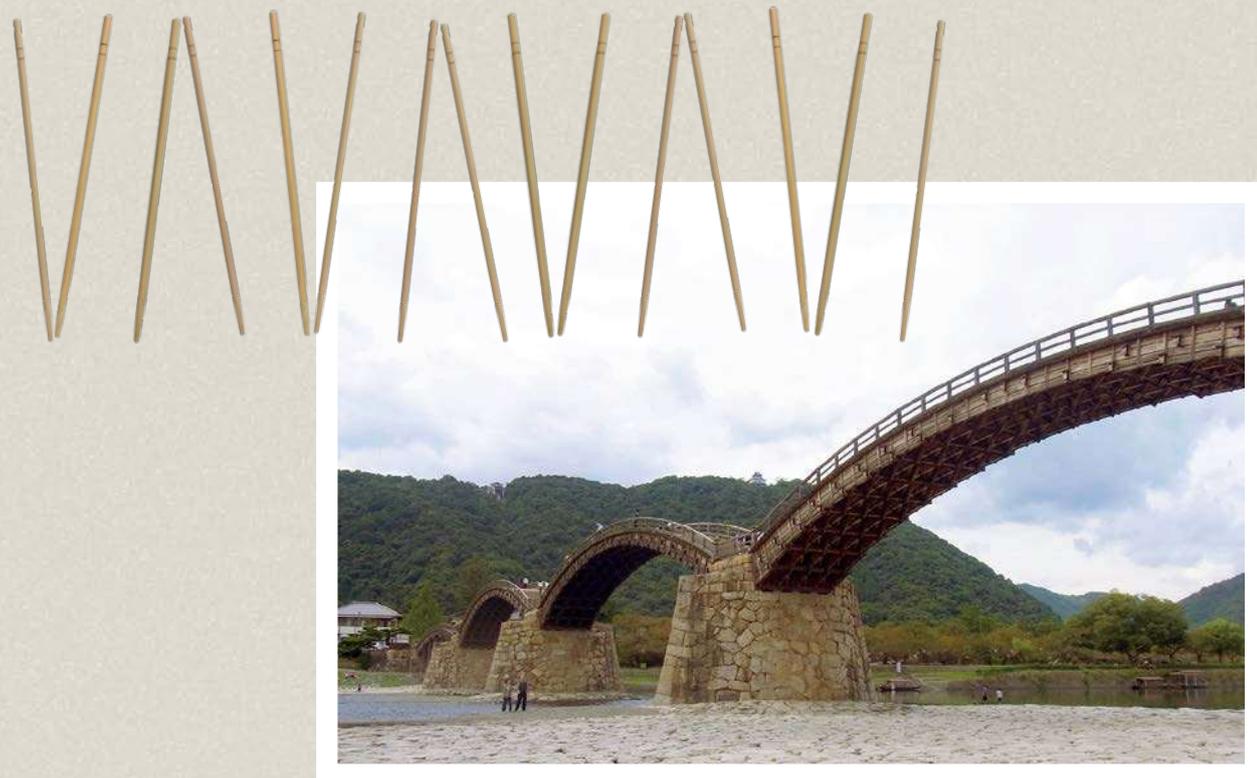
SCOUT SHOP JAPAN

Official Shop of the Scout Association of Japan



問題

15本の割り箸のみを使い、
アーチ型の橋を作ってください。



答え：「ダヴィンチの橋」で検索してください

株式会社セールスフォース・ドットコムは、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟への支援を通じて、性別や環境に関わらず、すべての子どもたちがSTEM教育に親しみ、学びを深められる機会を提供します。
全国のカブスカウト向けの新チャレンジ章において「STEM博士」を日本連盟と共同で開発しましたので、ぜひお取り組みください。

STEM博士 セールスフォース

